

鹿児島大学医学部保健学科

業 績 目 録

(2009年1月～12月)

〔看護学専攻〕

〔総合基礎看護学講座〕

A. 著書

1. 中俣直美：私はこうしている，看護師の立場から筋萎縮性側索硬化症のケアは. MOOK 理学療法プラクティス神経難病，知識と技術の統合に向けて（嶋田智明，大峯三郎，吉元洋一編），文光堂，2009，10，p161-163
2. 宮蘭夏美：子供の誕生における伝統的産婆と儀礼，アジアの出産，リプロダクションから見る文化と社会. アジア遊学 No.119，勉誠出版，2009，2，p62-73
3. 吉田愛知（分担執筆）：先天異常・奇形病理学. 進行性病変. 泌尿・生殖器. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野病理学 第3版，（梶原博毅，横井豊治編集），医学書院，東京，2009，2，p29-33，p108-116，p213-229

B. 論文

1. 上村笑*，南波千恵美*，樋脇真由美*，西村涼子**，武田沙江加*，上村良美*，中俣直美（*鹿児島大学医学部・歯学部附属病院，**元鹿児島大学医学部・歯学部附属病院）：C型肝炎患者がインターフェロン療法を受けるに至った保健行動に影響する要因の分析，第39回日本看護学会論文集—成人看護Ⅱ分科会—. 日本看護協会出版会2009；292-294
2. 宮蘭夏美：産後のマッサージ，ベビーマッサージ 変わるアジアの妊娠・出産. ペリネイタルケア2009；28(7)：96-99
3. 宮蘭夏美：マレーシアの伝統医療Ⅰ，～マレーシア・マレー半島・P村を事例に～. 鹿児島大学医学部保健学科紀要2009；19：55-63
4. 前田愛，宮蘭夏美，大野佳子，池田絵美：母親の育児不安要因の検討—対人関係とソーシャルサポートに焦点をあてて—. 鹿児島大学医学部保健学科紀要2009；19，11-18
5. 牛之濱久代，宮蘭夏美，下敷領須美子：インドネシアにおける地域助産婦の活動と役割 西カリマンタン州サンガウ県僻村勤務の地域助産婦を事例に. 四日市看護医療大学看護学部紀要2009；1：57-67
6. 宮蘭夏美：お産を取りあげる人と産む場所 変わるアジアの妊娠・出産. ペリネイタルケア2009；28(3)：65-68
7. 今野真紀，八代利香，李笑雨：大学生の月経に対するイメージとセルフケア—日本と韓国の比較—. 母性衛生2008；49(4)：628-636
8. So Woo Lee, Reiko Sakurai, Rika Yatsushiro, Mori Ayame, Kyung Sook Choi, Kwang-Ok Park, Eunjung Ryu : Comparison of Job Satisfaction Between Japanese and Korean Nurses. Journal of The Korean Data Analysis Society 2009；11(5(A))：2303-2314
9. 山口さおり，東サトエ：看護における〈病い〉を理解するための現象学的研究方法の検討. 鹿児島大学医学部保健学科紀要2009；19：1-10

C. 学会発表

1. 白川真紀，八代利香，吉留厚子，吉田愛知：住みなれた島で最期をむかえることのできない島民の現状. 第2回日本看護倫理学会，長野県佐久市，2009.6.6
2. Maki Shirakawa, Saori Yamaguchi, Nao Yosimoto, Rika Yatsushiro: Effectiveness of Self-Directed Learning Program prior to clinical practice in fundamental nursing. The 7th International Nursing Conference (INC2009), Seoul, 2009.9.30
3. 江籠平菊代¹⁾，福永秀敏²⁾，大窪隆一³⁾，中俣直美（¹⁾鹿児島市保健所保健予防課保健対策係，²⁾独立行政法人国立病院機構南九州病院，³⁾鹿児島大学医学部・歯学部附属病院神経内科）：鹿児島市難病患者等医療依存度の高い在宅療養者の療養生活調査の実施と考察. 平成21年度特定疾患患者の生活の質(QOL)の向上に関する研究班研究報告会，東京都，2009.12.15
4. Natsumi MIYAZONO^{a)}，Miki HARADA^{a)}，Hisayo USHINOHAMA^{b)}，Sumiko SHIMOSHIKIRYO^{c)}，Machiyo IKUTA^{d)}，Purnamawati^{e)}，Sri Snarti PURNAWANGSIH^{f)}，Sueo KUWAHARA^{g)}，Etsuko MATSUOKA^{h)}（^{a)}School of Health Sciences Faculty of Medicine Kagoshima University，^{b)}Faculty of Nursing, Yokkaichi Nursing and Medical Care University，^{c)}School of Health Sciences Faculty of Medicine Kumamoto University，^{d)}Graduate School of Humanistic-Sociological Sciences Kagoshima University，^{e)}Research Center for Population, Indonesian Institute of Sciences，^{f)}Faculty of Law Economics and Humanities Kagoshima University，^{g)}Faculty of Human Life and Environment Nara Women University): Research on sex behavior in Indonesia Case Study of Pontianak City in West Kalimantan State. The 7th International Nursing Conference, KOFST, Soeoul, Korea, October 29-30, 2009
5. Machiyo IKUTA^{a)}，Natsumi MIYAZONO^{b)}，Hisayo USHINOHAMA^{c)}，Sumiko SHIMOSHIKIRYO^{b)}，Purnamawati^{d)}，Sri Snarti

業 績 目 録

- PURNAWANGSIH^{a)}, Suelo KUWAHARA^{b)}, Etsuko MATSUOKA^{c)} (^{a)}School of Health Sciences Faculty of Medicine Kumamoto University, ^{b)}School of Health Sciences Faculty of Medicine Kagoshima University, ^{c)}Faculty of Nursing Yokkaichi Nursing and Medical Care University, ^{d)}Graduate School of Humanistic-Sociological Sciences, Kagoshima University, ^{e)}Research Center for Population, Indonesian Institute of Sciences, ^{f)}Faculty of Law, Economics and Humanities, Kagoshima University, ^{g)}Faculty of Human Life and Environment, Nara Women University): A Study of Dietary Habits among the Women of Perinatal Period and Infants in West Kalimantan, Indonesia, The 7th International Nursing Conference, KOFST, Soeoul, Korea, October 29-30. 2009
6. Hisayo USHINOHAMA^{a)}, Natsumi MIYAZONO^{b)}, Sumiko SHIMOSHIKIRYO^{b)}, Machiyo IKUTA^{c)} (^{a)}Faculty of Nursing, Yokkaichi Nursing and Medical Care University, ^{b)}School of Health Sciences Faculty of Medicine Kagoshima University, ^{c)}School of Health Sciences Faculty of Medicine Kumamoto University): The Perception of Perinatal Care-Givers Among Women in West-Kalimantan in Indonesia. The 7th International Nursing Conference, KOFST, Soeoul, Korea, October 29-30. 2009.
7. 宮 藺 夏 美¹⁾, 牛 之 濱 久 代²⁾, 下 敷 領 須 美 子¹⁾, 生 田 ま ち ち ょ³⁾, 松 岡 悦 子¹⁾, 新 名 主 雪 絵⁵⁾ (¹⁾鹿 児 島 大 学 医 学 部 保 健 学 科, ²⁾四 日 市 看 護 医 療 大 学 看 護 学 部 看 護 学 科, ³⁾熊 本 大 学 医 学 部 保 健 学 科, ⁴⁾奈 良 女 子 大 学 生 活 環 境 学 部 生 活 文 化 学 科, ⁵⁾鹿 児 島 医 療 セ ン タ ー 附 属 鹿 児 島 看 護 学 校): イ ン ド ネ シ ア の 西 カ リ マ ン タ ン 州 ポ ン テ ィ ア ナ ク 市 の ジ ェ ン ダ ー と リ プ ロ ダ ク テ ィ ブ ヘ ル ス に 関 す る 研 究. 日 本 母 性 衛 生 学 会, 横 浜 市, 2009.9.27
8. 牛 之 濱 久 代¹⁾, 下 敷 領 須 美 子, 宮 藺 夏 美, 生 田 ま ち ち ょ²⁾, 松 岡 悦 子³⁾ (¹⁾四 日 市 看 護 医 療 大 学 看 護 学 部 看 護 学 科, ²⁾熊 本 大 学 医 学 部 保 健 学 科, ³⁾奈 良 女 子 大 学 生 活 環 境 学 部 生 活 文 化 学 科): イ ン ド ネ シ ア 西 カ リ マ ン タ ン 州 に お け る 高 校 生 へ の 性 教 育. 日 本 母 性 衛 生 学 会, 横 浜 市, 2009.9.27
9. 下 敷 領 須 美 子, 宮 藺 夏 美, 牛 之 濱 久 代¹⁾, 生 田 ま ち ち ょ²⁾, 松 岡 悦 子³⁾ (¹⁾四 日 市 看 護 医 療 大 学 看 護 学 部 看 護 学 科, ²⁾熊 本 大 学 医 学 部 保 健 学 科, ³⁾奈 良 女 子 大 学 生 活 環 境 学 部 生 活 文 化 学 科): イ ン ド ネ シ ア に お け る 高 校 生 の DV 認 識 西 カ リ マ ン タ ン 州 サ ン ガ ウ 県 の 調 査 結 果 よ り. 日 本 母 性 衛 生 学 会, 横 浜 市, 2009.9.28
10. 生 田 ま ち ち ょ¹⁾, 宮 藺 夏 美, 牛 之 濱 久 代²⁾, 下 敷 領 須 美 子, 松 岡 悦 子³⁾ (¹⁾熊 本 大 学 医 学 部 保 健 学 科, ²⁾四 日 市 看 護 医 療 大 学 看 護 学 部 看 護 学 科, ³⁾奈 良 女 子 大 学 生 活 環 境 学 部 生 活 文 化 学 科): イ ン ド ネ シ ア 西 カ リ マ ン タ ン 州 の 妊 産 婦 の 食 行 動 に 関 す る 研 究. 日 本 母 性 衛 生 学 会, 横 浜 市, 2009.9.28
11. Natsumi MIYAZONO, RN, M.S, Yanami MOTOYAMA, RN¹⁾, Motoyo KANEKO, MD, Ph.D²⁾, Yasuko TAKASAKI, RN²⁾, Michiko MORIYAMA, RN, Ph.D³⁾ (¹⁾Kumamoto University Hospital, ²⁾Kaneko Clinic, ³⁾Department of Nursing Science Graduate School of Health Sciences Hiroshima University): Research into the psychological state and behavior of the partners of breast cancer patients and the role of nursing support. The 1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, Kobe, 2009.9.19
12. Natsumi MIYAZONO, RN, M.S, Hisayo USHINOHAMA, Midwife, M.S¹⁾, Sumiko SHIMOSHIKIRYO, Midwife, M.S, Suelo KUWAHARA, M.A²⁾, Etsuko MATSUOKA, Ph.D³⁾, Purnamawati, M.L⁴⁾, Sri Sunarti Purwaningsih, Ph.D⁵⁾, Machiyo IKUTA, RN, M.S⁶⁾ (¹⁾Department of Nursing Faculty of Nursing Yokkaichi Nursing and Medical Care University, ²⁾Faculty of Law Economics and Humanities Kagoshima University, ³⁾Faculty of Human Life and Environment Nara Women University, ⁴⁾Graduate School of Humanistic-Sociological Sciences Kagoshima University, ⁵⁾Research Center for Population Indonesian Institute of Sciences, ⁶⁾Department of Health and Sciences Faculty of Medicine University of Kumamoto): The Actual Situation and Issues of Community Midwives Activities in West Kalimantan State Indonesia. The 1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, Kobe, 2009.9.20
13. 平 佐 田 和 代¹⁾, 嶽 崎 俊 郎¹⁾, 宮 藺 夏 美, (¹⁾鹿 児 島 大 学 大 学 院 医 歯 学 綜 合 研 究 科): 大 洋 州 地 域 保 健 医 療 に お け る 包 括 的 予 防 対 策 コ ー ス の 報 告. Report of Comprehensive Prevention Approach in Health Care for the Pacific Ocean Islands Course. 日 本 国 際 看 護 研 究 会 学 会, 東 京 都, 2009.9.12
14. 宮 藺 夏 美: 乳 が ん 患 者 の 自 己 管 理 プ ロ グ ラ ム と 家 族 支 援 プ ロ グ ラ ム 開 発 の た め の 基 礎 調 査. 日 本 家 族 看 護 学 会, 高 山 市, 2009.9.6
15. 新 原 祐 子¹⁾, 宮 藺 夏 美, 櫻 井 裕 子²⁾ (¹⁾日 本 赤 十 字 社 医 療 セ ン タ ー, ²⁾鹿 児 島 市 南 部 保 健 セ ン タ ー): 被 災 地 勤 務 保 健 師 の 豪 雨 災 害 活 動 の 現 状 と 支 援 に 関 す る 研 究. 日 本 災 害 看 護 学 会, 神 戸 市, 2009.8.8
16. 宮 藺 夏 美, Ryantinah¹⁾, 櫻 井 裕 子²⁾, 新 原 祐 子³⁾ (¹⁾Dr. Sardjito 病 院 IRNA I 看 護 部, ²⁾鹿 児 島 市 南 部 保 健 セ ン タ ー, ³⁾日 本 赤 十 字 社 医 療 セ ン タ ー): 被 災 地 被 災 看 護 師 の 災 害 看 護 活 動 中 部 ジ ャ ヲ 地 震 被 災 看 護 師 へ の イン タ ビ ュ ー 結 果 か ら. 日 本 災 害 看 護 学 会, 神 戸 市, 2009.8.8
17. 宮 藺 夏 美, 牛 之 濱 久 代¹⁾, 下 敷 領 須 美 子, 生 田 ま ち ち ょ²⁾, 桑 原 季 雄³⁾ (¹⁾四 日 市 看 護 医 療 大 学, ²⁾熊 本 大 学 医 学 部 保 健 学 科, ³⁾鹿 児 島 大 学 法 文 部): イ ン ド ネ シ ア ・ 西 カ リ マ ン タ ン 州 の 地 域 住 民 の 性 行 動 と 生 殖 に 関 す る 研 究 ポ ン テ ィ ア ナ ク 市 を 事 例 に.

業績目録

日本国際保健医療学会, 仙台市, 2009.8.6

18. 牛之濱久代¹⁾, 宮菌夏美, 下敷領須美子, 生田まちよ²⁾ (¹⁾四日市看護医療大学, ²⁾熊本大学医学部保健学科): インドネシア・西カリマンタン州サンガウ県における地域助産婦の活動. 日本国際保健医療学会, 仙台市, 2009.8.6
19. 下敷領須美子, 宮菌夏美, 牛之濱久代¹⁾, 生田まちよ²⁾ (¹⁾四日市看護医療大学, ²⁾熊本大学医学部保健学科): インドネシアにおける高校生の性差感 西カリマンタン州サンガウ県を事例に. 日本国際保健医療学会, 仙台市, 2009.8.6
20. 生田まちよ¹⁾, 宮菌夏美, 牛之濱久代²⁾, 下敷領須美子 (¹⁾熊本大学医学部保健学科, ²⁾四日市看護医療大学): インドネシア西カリマンタン州ダヤック族における乳幼児の食習慣に関する研究. 日本国際保健医療学会, 仙台市, 2009.8.6
21. 平佐田和代¹⁾, 嶽崎俊郎¹⁾, 宮菌夏美 (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 太平洋州諸国における Problem Tree を用いた問題解決型研修プログラム. 日本国際保健医療学会, 仙台市, 2009.8.6
22. 宮菌夏美: インドネシアにおけるリプロダクションの歴史の変遷・現状と課題 西ジャワ州西カリマンタン州のフィールド調査結果の分析・考察. 日本文化人類学会, 大阪市, 2009.5.30
23. 宮菌夏美: アジアのリプロダクション 出産現場から見る現状と変化 医療化の現状. 日本助産学会, 東京都, 2009.3.21
24. 白川真紀, 八代利香, 吉留厚子, 吉田愛知: 住みなれた島で最期をむかえることのできない島民の現状. 第2回日本看護倫理学会, 長野市, 2009.6.6.
25. 吉本なを, 山口さおり, 八代利香: 看護系大学1年次生が考える看護倫理. 日本看護倫理学会第2回年次大会, 長野県佐久市, 2009.6.6
26. Maki Shirakawa, Saori Yamaguchi, Nao Yosimoto, Rika Yatsushiro: Effectiveness of Self-Directed Learning Program prior to clinical practice in fundamental nursing. The 7th International Nursing Conference (INC 2009), Seoul, 2009.9.30
27. So Woo Lee, Tomoko Kosaka, Rika Yatsushiro, Rie Takanami, Sanae Yamashita: Comparative study on terminally ill children nursing care between Korea and Japan. Perth・Western Australia, September 24-27, 2009.
28. Rika Yatsushiro, Saori Yamaguchi, Atsuko Yoshidome: Survey on Educational Needs to Certified Nurse Specialization among Nurses in Kagoshima Prefecture. The 7th International Nursing Conference, Seoul, Korea, 2009.10.29-30.
29. 大井恭代, 雷哲明, 久木田妙子, 相良安昭, 相良吉昭, 馬場信一, 玉田修吾, 松山義人, 土持進作, 安藤充嶽, 相良吉厚, 梅北善久, 谷本昭英, 吉田愛知: 非触知乳癌の臨床病理学的特徴. 第17回日本乳癌学会学術総会, 東京都, 2009.6

D: その他

1) 論文・報告書

1. 白川真紀: ミレニアム年における看護職の役割2008, WHO 設立60周年 “すべての人々に健康を” 30周年-Kim Soon Ja 教授と Lee Sun Ock 教授の講演を通して-. 鹿児島大学医学部保健学科紀要2008 ; 19 : 71-76
2. 宮菌夏美: 第12回国際看護研究会学術集会報告, 国際看護研究会 NEWSLETTER No.55. 国際看護研究会, p2-3, 2009.10.15
3. 宮菌夏美: 海外情報 インドネシアのジェンダーとリプロダクティブヘルスの現状と課題(2) インドネシアの PHC とインドネシア版母子手帳. 国際看護研究会 NEWSLETTER No.53, 国際看護研究会, p5-9, 2009.4.30
4. 宮菌夏美: 海外情報 インドネシアのジェンダーとリプロダクティブヘルスの現状と課題(1) インドネシアの PHC とインドネシア版母子手帳. 国際看護研究会 NEWSLETTER No.52, 国際看護研究会, p4-7, 2009.2.5
5. 松岡悦子, 小浜正子, 宮菌夏美, 他: 東南アジアにおける近代化とリプロダクションの変容. 平成18年度~20年度基盤研究 B(一般)研究成果報告書課題番号18320139, 2009.3
6. 吉田愛知, 田沼順一: 徳之島産ハブ粗毒 BP-II による筋壊死に対する濃縮ウサギ免疫血清の骨格筋壊死抑制効果について. 平成20年度奄美ハブ毒免疫機序研究報告書 (奄美群島振興開発事業), 鹿児島県, p47-52, 2009.3
7. 吉本なを: 第1回国際セミナー「韓国と米国におけるナースプラクティショナーの役割」から. 鹿児島大学医学部保健学科紀要19巻, p49-52, 2009

2) 講演

1. 今村利香, 中馬育子, 白川真紀, 高崎靖子¹⁾, 宮菌幸江²⁾, 武亜希子²⁾, 片平亜由美²⁾, 松元瞳²⁾, 有村夕加²⁾, 櫻木真理子³⁾, 下前百合香⁴⁾, 二見江梨子⁴⁾, 真方美紀⁵⁾, 室上成美⁶⁾ (¹⁾かねこクリニック, ²⁾鹿児島大学病院, ³⁾鹿児島市医師会病院, ⁴⁾今給黎総合病院, ⁵⁾鹿児島市立病院, ⁶⁾鹿屋医療センター): 「第13回ストーリーマリアビリティの基本」. 公開講座演習, 鹿児島市, 2009.7.4
2. 中俣直美, 濱田恭子: 看護研究の進め方・まとめ方 (グループ指導) 全11回. 鹿児島市医師会病院看護部研修, 鹿児島市,

業績目録

2009.1.26-12.8

3. 中俣直美：ALS療養支援. 家族以外の介護者の吸引講習会, 日本ALS協会主催, 鹿児島市, 2009.7.25
4. 中俣直美, 吉本なを：口腔内・気管内吸引. 家族以外の介護者の吸引講習会, 日本ALS協会主催, 鹿児島市, 2009.7.25
5. 中俣直美：看護研究の進め方. 鹿児島市医師会病院看護部教育研修会, 鹿児島市, 2009.9.1
中俣直美：ALS療養支援 口腔内・気管内吸引. 家族以外の介護者の吸引講習会, 日本ALS協会主催, 奄美市, 2009.9.6
6. 中俣直美：ALS療養者の現況「在宅ALS（筋萎縮性側索硬化症）療養者の支援」. 公開講座, 鹿児島市, 2009.9.12
7. 中俣直美, 白橋有人, 田中久美子, 出口明美, 上野光代, 満留真由美, 白川真紀, 山口さおり, 吉本なを：在宅人工呼吸器装着患者のケアに必要な看護技術「在宅ALS（筋萎縮性側索硬化症）療養者の支援」. 公開講座, 鹿児島市, 2009.9.12
8. 中俣直美：口腔内・気管内吸引 家族以外の介護者の吸引講習会（全8回）. 日本ALS協会主催, 薩摩川内市, 出水市, 霧島市, 鹿屋市, 鹿児島市, 2009.5.31-12.13
9. 宮藺夏美：「効果的な臨地実習指導」学生の主体性を育む関わり方. 平成21年度鹿児島大学病院臨床指導者会議, 鹿児島大学病院, 2009.11.19
10. 宮藺夏美：日本から見たインドネシアの母子保健 「太平洋州地域保健医療における包括的予防対策」. 平成21年度地域別JICA研修, JICA, 2009.11.12
11. 宮藺夏美：第12回日本国際看護研究会学会学術集会会長, 2009.9.12
12. 宮藺夏美：国際看護学と人類学の融合. 第12回日本国際看護研究会学会基調講演, 2009.9.12
13. 宮藺夏美：母子保健. 第12回日本国際看護研究会学会座長, 2009.9.12
14. 宮藺夏美：第12回日本国際看護研究会学会準備・実行委員, 2009.9.12
15. 宮藺夏美：第12回日本国際看護研究会学会査読委員長, 2009.7.25
16. 宮藺夏美：アジアの近代化とリプロダクションの変容シンポジスト. 日本文化人類学会, 大阪市, 2009.5.30
17. 宮藺夏美：アジアのリプロダクション 出産現場から見る現状と変化シンポジスト. 日本助産学会, 東京都, 2009.3.21
18. 宮藺夏美：国際看護研究会運営委員2009年4月～
19. 八代利香：看護論Ⅱ. 鹿児島県看護協会 平成20年度実習指導者講習会, 鹿児島市, 2009.1.28-29
20. 八代利香：教職員のストレスと対処. 鹿児島大学 平成21年度教員免許状更新講習, 鹿児島市, 2009.8.28
21. Rika Yatsushiro: Graduate Nursing Education of Japan Master's and PhD Programs, Science Seminar, Korea National Open University, Seoul, Korea, 2009.10.30
22. 八代利香：国際看護学 保健に関する国際ネットワーク. 鹿児島県立松陽高等学校 出前授業, 鹿児島市, 2009.12.10
24. 中俣直美, 白橋有人, 田中久美子, 出口明美, 上野光代, 満留真由美, 白川真紀, 山口さおり, 吉本なを：在宅人工呼吸器装着患者のケアに必要な技術. 鹿児島大学医学部保健学科公開講座 「在宅ALS療養者の支援」, 鹿児島市, 2009.9.12

〔臨床看護学講座〕

A. 著書

1. 丹羽さよ子：V.私はどうしている 1. 看護師の立場から①在宅での工夫とは？. 神経難病, 知識と技術の統合に向けて (嶋田智明 大峯三郎 吉元洋一編), 文光堂, 東京, 2009, 9, p158-160

B. 論文

1. 馬場研二¹⁾, 新地洋之, 蔵原 弘¹⁾, 又木雄弘¹⁾, 夏越祥次¹⁾, 高尾尊身¹⁾ (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 多形紅斑が発見契機となった脾原発悪性リンパ腫の1例. 日本臨床外科学会雑誌2009; 70(2): 554-559
2. Hiwatashi K¹⁾, Ueno S¹⁾, Sakoda M¹⁾, Kubo F¹⁾, Taten T¹⁾, Kurahara H¹⁾, Mataka Y¹⁾, Maemura K¹⁾, Ishigami S¹⁾, Shinchi H, Natsugoe S¹⁾ (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): Strong Smad 4 Expression Correlates with Poor Prognosis After Surgery in Patients with Hepatocellular Carcinoma. Ann Surg Oncol, 2009 Jul 21.
3. Ishigami S¹⁾, Ueno S¹⁾, Matsumoto M¹⁾, Okumura H¹⁾, Arigami T¹⁾, Uchikado Y¹⁾, Setoyama T¹⁾, Arima H¹⁾, Sasaki K¹⁾, Kitazono M¹⁾, Shinchi H, Kijima Y¹⁾, Natsugoe S¹⁾ (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): Prognostic value of CD 208-positive cell infiltration in gastric cancer. Cancer Immunol Immunother, 2009 Sep 16.
4. 木佐貫 彰, 鄭 忠和: 心拡大の治療と心エコーによる評価のポイント. 心エコー 2008; 9(11): 1086-1098
5. 木佐貫 彰, 鄭 忠和: Tei index を心不全診断治療に活かす. 心エコー 2009; 110(3): 224-230
6. 蔵原 弘¹⁾, 新地洋之, 又木雄弘¹⁾, 前田真一¹⁾, 夏越祥次¹⁾, 高尾 尊身¹⁾ (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 外科的治療を繰り返して長期生存している粘液産生胆管癌の1例. 日本消化器外科学会雑誌2009; 42(5): 510-515
7. 蔵原 弘¹⁾, 新地洋之, 又木雄弘¹⁾, 尾本 至¹⁾, 前村公成¹⁾, 野間秀蔵¹⁾, 夏越祥次¹⁾, 高尾尊身¹⁾ (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 【抗癌剤感受性試験】 膵癌に対する抗癌剤感受性試験の臨床的意義. 癌の臨床2009; 55(5): 357-362
8. Kurahara H¹⁾, Shinchi H, Mataka Y¹⁾, Maemura K¹⁾, Noma H¹⁾, Kubo F¹⁾, Sakoda M¹⁾, Ueno S¹⁾, Natsugoe S¹⁾, Takao S¹⁾ (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): Significance of M2-Polarized Tumor-Associated Macrophage in Pancreatic Cancer. J Surg Res, 2009 Jun 16.
9. K. Mine, R. Shimotakahara, S. Ogata: A Lingual muscle of the Japanese raccoon dog corresponding to the human chondroglossus muscle. Bulletin of the school of health sciences faculty of medicine kagoshima university 2009; 19(3): 27-31
10. Kono M, Kisanuki A, Takasaki K, Ueya N, Tanaka K, Kuwahara E, Yuasa T, Mizukami N, Tei C: Left ventricular systolic function is abnormal in diastolic heart failure Re-assessment of systolic function using cardiac time interval analysis. J Cardiol 2009; 53: 437-46.
11. Kurahara H¹⁾, Shinchi H, Mataka Y¹⁾, Maeda S¹⁾, Takao S¹⁾ (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): A case of squamous cyst of pancreatic ducts. Pancreas. 2009; 38(3): 349-351
12. 前田真一²⁾, 小倉芳人²⁾, 内倉敬一郎²⁾, 前村公成¹⁾, 新地洋之, 高尾尊身¹⁾, 夏越祥次¹⁾ (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科, ²⁾国立病院機構南九州病院): 完全内臓逆位症にみられた胆管癌の1例. 日本消化器外科学会雑誌2009; 42(12): 1802-1807
13. Maeda S¹⁾, Ding Qiang¹⁾, Shinchi H, Kurahara H¹⁾, Mataka Y¹⁾, Maemura K¹⁾, Natsugoe S¹⁾, Takao S¹⁾ (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): CD44 and CD133 Expressions in Primary Tumor Cells Correlate to Survival of Pancreatic Cancer Patients. The Open Surgical Oncology Journal 2009; 1: 1-7
14. 前村公成¹⁾, 新地洋之, 野間秀蔵¹⁾, 又木雄弘¹⁾, 蔵原 弘¹⁾, 前田真一¹⁾, 夏越祥次¹⁾, 高尾尊身¹⁾ (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 膵・胆道癌切除後の局所再発巣に対する化学放射線療法の有効性. 癌と化学療法 2009; 36(2): 265-268
15. 又木雄弘¹⁾, 新地洋之, 蔵原 弘¹⁾, 尾本 至¹⁾, 夏越祥次¹⁾, 高尾尊身¹⁾ (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 腹腔鏡下手術が診断・治療に有用であった後腹膜発生 Castleman 病の1例. 鹿児島大学医学雑誌第2009; 60(3): 73-76
16. 又木雄弘¹⁾, 新地洋之, 野間秀蔵¹⁾, 蔵原 弘¹⁾, 夏越祥次¹⁾, 高尾尊身¹⁾ (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 原発性硬化性胆管炎に並存した早期胆管癌の1例. 日本臨床外科学会雑誌 2009; 70(6): 1814-1819
17. 又木雄弘¹⁾, 新地洋之, 蔵原 弘¹⁾, 福島浩平¹⁾, 夏越祥次¹⁾, 高尾尊身¹⁾ (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 膵中央切除を施行した膵の脂肪置換合併内分泌腫瘍の1例. 日本臨床外科学会雑誌 2009; 70(10): 121-126
18. Mataka Y¹⁾, Shinchi H, Kurahara H¹⁾, Maemura K¹⁾, Noma H¹⁾, Natsugoe S¹⁾, Takao S¹⁾ (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): Clinical Usefulness of FDG-PET for Pancreatic Cancer. 癌と化学療法2009; 36(13): 2516-2520
19. 檜柑富貴子: 「看護師における“患者の死”の捉え方尺度」の因子構造及び信頼性の検討. 第39回日本看護論文集 (成人看護Ⅱ) 2009: 191-193

業績目録

20. 橋柑富貴子, 清水佐智子, 緒方重光: 臨地実習における技術経験の現状と課題. 鹿児島大学医学部保健学科紀要2009; 19: 65-70
21. Nakashiki K, Otsuji Y, Ueno T, Kisanuki A, Kuwahara E, Hamasaki S, Sakata R, Tei C: Transient Late Onset Ischemic Mitral Regurgitation Following Dor's Procedure A Case Report. Journal of Echocardiography 2009; 7: 16-18
22. 小川 信¹⁾, 北藪正樹¹⁾, 榑 一晃¹⁾, 石神純也¹⁾, 新地洋之, 上野真一¹⁾, 石澤隆, 馬場康貴¹⁾, 林 完勇¹⁾, 東美智代¹⁾, 米澤 傑¹⁾, 丹羽清志²⁾, 鮫島由規則²⁾, 鮫島隆志²⁾, 夏越祥次¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科, ²⁾鮫島病院): 【特発性腸間膜静脈硬化症 (idiopathic mesenteric phleboscrosis) 概念と臨床的取り扱い】特発性腸間膜静脈硬化症と鑑別を要した直腸動静脈奇形の1例. 胃と腸2009; 44(2): 221-226
23. Sakoda M¹⁾, Ueno S¹⁾, Kubo F¹⁾, Hiwatashi K¹⁾, Tateno T¹⁾, Kurahara H¹⁾, Matak Y¹⁾, Shinchi H, Natsugoe S¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): Surgery for Hepatocellular Carcinoma Located in the Caudate Lobe. World J Surg. 2009 Jul 7.
24. 清水佐智子, 緒方重光: 実習記録の管理方法と看護過程展開状況との関連. 第39回日本看護学会論文集 看護教育2009; 2: 97-99
25. 新地洋之, 又木雄弘¹⁾, 蔵原 弘¹⁾, 野間秀歳¹⁾, 前村公成¹⁾, 平木嘉幸¹⁾, 夏越祥次¹⁾, 高尾尊身¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 【新規抗癌剤の導入で膀胱癌治療はどう変わるか?】膀胱癌に対する新しい治療 S-1併用放射線療法第I・II相臨床試験. 癌の臨床2009; 55(3): 205-209
26. 新地洋之, 又木雄弘¹⁾, 蔵原 弘¹⁾, 野間秀歳¹⁾, 前村公成¹⁾, 平木嘉幸¹⁾, 夏越祥次¹⁾, 高尾尊身¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 【膀胱癌治療の新しい展開】局所進行切除不能膀胱癌に対する新しい治療 S-1併用化学放射線療法. 消化器科2009; 48(2): 222-228
27. 新地洋之, 前村公成¹⁾, 又木雄弘¹⁾, 蔵原 弘¹⁾, 夏越祥次¹⁾, 高尾尊身¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 【縫合不全ゼロをめざす消化管吻合術 ここがポイント】膵頭十二指腸切除後の縫合不全ゼロをめざした膵胃吻合 膵胃密着縫合法のコツとテクニック. 手術2009; 63(9): 1307-1313
28. 新地洋之, 又木雄弘¹⁾, 蔵原 弘¹⁾, 野間秀歳¹⁾, 前村公成¹⁾, 夏越祥次¹⁾, 高尾尊身¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 膵・胆道癌遠隔転移診断 2009】膀胱癌に対する腹腔鏡による遠隔転移診断 個別化治療への応用. 胆と膵2009.9; 30(9): 979-984
29. 新地洋之, 又木雄弘¹⁾, 蔵原 弘¹⁾, 前田真一¹⁾, 久保文武¹⁾, 迫田雅彦¹⁾, 上野真一¹⁾, 前村公成¹⁾, 夏越祥次¹⁾, 高尾尊身¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 肝切除により長期生存が得られた胆管癌肝転移再発の1例. 日本消化器外科学会雑誌2009; 42(9): 1501-1505
30. 新地洋之, 高尾尊身¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 切除不能胆管癌に対する放射線化学療法. 肝胆膵2009; 59(5): 973-979
31. 新地洋之, 高尾尊身¹⁾, 前村公成¹⁾, 野間秀歳¹⁾, 北藪正樹¹⁾, 上野真一¹⁾, 迫田雅彦¹⁾, 久保文武¹⁾, 平木嘉幸¹⁾, 中條政敬¹⁾, 愛甲 孝¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 進行膀胱癌に対する治療戦略-外科治療 or 放射線化学療法?-. 鹿児島県臨床外科学会雑誌2009; 20: 15
32. 高尾尊身¹⁾, QiangDing¹⁾, 前田真一¹⁾, 林 知実¹⁾, 新地洋之, 松原修一郎¹⁾, 小原 徹¹⁾, 藤吉利信¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 【肝胆膵領域における幹細胞研究の最前線】肝胆膵悪性腫瘍における Cancer Stem cell 膵臓癌における癌幹細胞. 肝胆膵2009; 59(4): 657-667
33. 立野太郎¹⁾, 上野真一¹⁾, 迫田雅彦¹⁾, 久保文武¹⁾, 樋渡清司¹⁾, 大塚綱志¹⁾, 蔵原 弘, 又木雄弘¹⁾, 新地洋之, 夏越祥次¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 動脈脈瘤を伴う肝内動脈瘤の1例. 日本消化器外科学会雑誌2009; 42(2): 166-171
34. Tateno T¹⁾, Ueno S¹⁾, Hiwatashi K¹⁾, Matsumoto M¹⁾, Okumura H¹⁾, Setoyama T¹⁾, Uchikado Y¹⁾, Sakoda M¹⁾, Kubo F¹⁾, Ishigami S¹⁾, Shinchi H, Natsugoe S¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): Expression of receptor for advanced glycation end products (RAGE) is related to prognosis in patients with esophageal squamous cell carcinoma. Ann Surg Oncol 2009; 16(2): 440-446
35. 今村利香, 峰和治¹⁾, 高山忠雄²⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科, ²⁾鹿児島国際大学大学院社会福祉学研究科): 医療機関におけるIT整備状況とe-ラーニングを用いたDV研修に関する研究-全国の医療機関に勤務する看護部長を対象にした質問紙調査より-, 日本看護協会第40回日本看護学会論文集 (看護総合), 2009: 318-320
36. 今村利香, 峰和治¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 看護職員を対象としたDV被害者支援研修システムに関する研究, 日本看護協会第40回日本看護学協会論文集 (看護教育), 2009: 134-136

業績目録

C. 学会発表

1. 清水佐智子：緩和ケアの講義に際し看護学生が持つ不安. 第23回日本がん看護学会学術集会, 沖縄, 2009.2.8
2. 檜柑富貴子：緩和ケア施設の「看護師における“患者の死”の捉え方」について. 日本がん看護学会, 宜野湾市, 2009.2.8
3. 今村利香, 石澤隆¹⁾, 宮菌幸江²⁾, 武重希子³⁾, 高崎靖子³⁾, 小濱智美⁴⁾, 下前百合香⁵⁾ (¹⁾元鹿児島大学医学部保健学科, ²⁾鹿児島大学病院, ³⁾かねこクリニック, ⁴⁾県立薩南病院, ⁵⁾今給黎総合病院) : ストーマ公開講座が参加者に及ぼす教育効果. 第26回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会, 青森市, 2009.2.28
4. Kono M, Kisanuki A, Takasaki K, Ueya N, Tanaka K, Kuwahara E, Yuasa T, Mizukami N, Tei C: Reassessment of systolic function in diastolic heart failure with hypertension: A study using the cardiac time interval analysis. 第73回日本循環器学会総会・学術集会, 大阪, 2009.3
5. Toshinori Yuasa, Akira Kisanuki, Tsetsegmaa Shanzbaatar, Nami Ueya, Kenichi Nakashiki, Eiji Kuwahara, Kunitsugu Takasaki, Kayoko Kubota, Mihoko Kono, Naoko Mizukami, Tomonori Uchimura, Masaaki Miyata, Chuwa Tei: Right Ventricular Tei Index is Useful for Assessing Severity and Improvement of Heart Failure in Patients with Left Ventricular Systolic Dysfunction. 第73回日本循環器学会総会・学術集会, 大阪, 2009.3
6. Nakashiki K, Kisanuki A, Yuasa T, Kuwahara E, Uemura T, Kubota K, Kohno M, Mizukami N, Uchimura T, Tei C: Current Status and Perspective of Real time 3D Transesophageal Echocardiography. 第73回日本循環器学会総会・学術集会, 大阪, 2009.3
7. 桑原栄嗣, 尾辻 豊, 上野哲也, 井畔能文, 木佐貫 彰, 仲敷健一, 窪田佳代子, 河野美穂子, 植村 健, 湯浅敏典, 高崎州亜, 濱崎秀一, 坂田隆造, 鄭 忠和 : Chordal Cutting for Ischemic Mitral Regurgitation: Improved Anterior Mitral Leaflet Tethering Associated with More Effective Mid-Term Repair. 第73回日本循環器学会総会・学術集会, 大阪, 2009.3
8. 桑原栄嗣, 木佐貫彰, 仲敷健一, 湯浅敏典, 植村 健, 窪田佳代子, 河野美穂子, 内村友則, 水上尚子, 鄭 忠和 : 虚血性僧帽弁逆流症例における リアルタイム 3D 経食道心エコー法による僧帽弁評の有用性. 第20回日本心エコー図学会学術集会, 高松市, 2009.4
9. Akira Kisanuki, Mihoko Kono, Kunitsugu Takasaki, Kayoko Kubota, Eiji Kuwahara, Takeshi Uemura, Toshinori Yuasa, Naoko Mizukami, Kenichi Nakashiki, Chuwa Tei: Left Ventricular Systolic Function is Impaired in Diastolic Heart Failure: Re - assessment of Systolic Function Using Cardiac Time Interval Analysis. 第20回日本心エコー図学会学術集会, 高松市, 2009.4
10. 湯浅敏典, 木佐貫 彰, Tsetsegmaa Shanzbaatar, 植屋奈美, 仲敷健一, 高崎州亜, 桑原栄嗣, 窪田佳代子, 河野美穂子, 水上尚子, 内村友則, 宮田昌明, 濱崎秀一, 鄭 忠和 : 右室 Tei index は左室収縮不全に対する治療効果を予測する指標である. 第20回日本心エコー図学会学術集会, 高松市, 2009.4
11. Akira Kisanuki, Mihoko Kono, Chuwa Tei: Assessment of Left Ventricular Systolic Function in Diastolic Heart Failure Using Cardiac Time Intervals. 17th an Pacific Congress of Cardiology, 京都市, 2009.5
12. 窪田佳代子, 尾辻 豊, 湯浅敏典, 仲敷健一, 高崎州亜, 桑原栄嗣, 河野美穂子, 植屋奈美, 水上尚子, 木佐貫彰, 坂田隆造, 鄭 忠和 : 虚血性 MR の弁輪形成術後の機能性僧帽弁狭窄 : 弁下部 tethering の重要性. 第82回日本超音波学会, 東京, 2009.5
13. 窪田佳代子, 尾辻 豊, 湯浅敏典, 仲敷健一, 高崎州亜, 桑原栄嗣, 河野美穂子, 植屋奈美, 水上尚子, 木佐貫彰, 坂田隆造, 鄭 忠和 : 虚血性僧帽弁逆流に対する僧帽弁形成術後の機能性僧帽弁狭窄は運動により悪化する負荷心エコーの重要性. 第106回日本循環器学会九州地方会, 北九州, 2009.6
14. 新地洋之, 又木雄弘¹⁾, 蔵原 弘¹⁾, 野間秀歳¹⁾, 前村公成¹⁾, 上野真一¹⁾, 迫田雅彦¹⁾, 久保文武¹⁾, 夏越祥次¹⁾, 高尾尊身¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科) : 膈頭十二指腸切除後 leak を起こさないための工夫—膈胃密着縫合法のコツとテクニック—. 第21回日本肝胆膵外科学会, 名古屋市, 2009.6.11
15. 新地洋之, 前村公成¹⁾, 又木雄弘¹⁾, 蔵原 弘¹⁾, 野間秀歳¹⁾, 前田真一¹⁾, 上野真一¹⁾, 迫田雅彦¹⁾, 久保文武¹⁾, 夏越祥次¹⁾, 高尾尊身¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科) : 膈癌治療の現況と今後の展望. 第21回日本肝胆膵外科学会, 名古屋市, 2009.6.11
16. 濱田幸恵¹⁾, 堤由美子 (¹⁾鹿児島大学大学院保健学研究科) : 精神障害者の発病回復過程における状況の捉え方—構造的側面からの分析—. 第19回日本精神保健看護学会抄録集, p104-105, 慶応義塾大学日吉キャンパス, 2009.6.20
17. Akira Kisanuki, Mihoko Kono, Chuwa Tei: Reassessment of Systolic Function in Diastolic Heart Failure. The 13th World Congress of Echocardiography and Allied Techniques - International Society of Cardiovascular and Ultrasound, 神戸市, 2009.7
18. 新地洋之, 又木雄弘¹⁾, 蔵原 弘¹⁾, 野間秀歳¹⁾, 前村公成¹⁾, 石神純也¹⁾, 上野真一¹⁾, 北薮正樹¹⁾, 夏越祥次¹⁾, 高尾尊身¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科) : 局所進行膈癌の治療成績と合理的な治療戦略—切除か化学放射線療法か?—. 第64

業 績 目 録

- 回日本消化器外科学会定期学術総会，大阪市，2009.7.16
19. 新地洋之，又木雄弘¹⁾，蔵原 弘¹⁾，野間秀歳¹⁾，前村公成¹⁾，夏越祥次¹⁾，高尾尊身¹⁾（¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）：局所進行膵癌に対する治療戦略－切除か化学放射線療法か？－. 第40回日本膵臓学会，東京都，2009.7.30
 20. 今村利香，峰和治¹⁾，高山忠雄²⁾（¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科，²⁾鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科）：医療機関における IT 整備状況と e ラーニングシステムを用いた DV 研修に関する研究. 第38回日本看護学会(看護教育)，京都市，2009.7.19
 21. 湯浅敏典，植屋奈美，木佐貫 彰，仲敷健一，桑原栄嗣，高崎州亜，窪田佳代子，河野美穂子，水上尚子，内村友則，宮田昌明，濱崎秀一，鄭 忠和：僧帽弁逸脱症における僧帽弁 tenting の重要性－3D 経食道心エコーを用いた検討－. 第7回先進血管心エコー研究会，大阪，2009.8
 22. 清水佐智子，緒方重光：臨床指導者と教員が技術チェックリストを学生と確認することの効果－成人看護学実習において－. 第40回日本看護学会看護教育，岡山，2009.8.26
 23. 今村利香，峰和治¹⁾（¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）：看護職員を対象とした DV 被害者支援研修システムに関する研究. 第38回日本看護学会看護教育，岡山市，2009.8.26
 24. 新地洋之，前村公成，野間秀歳，又木雄弘，蔵原 弘，夏越祥次，高尾尊身：尾側膵切除における膵切離法－ハーモニック・スカルペルと自動縫合器 Echelon 60 の比較検討－. 第36回日本膵切研究会，和歌山市，2009.8.29
 25. 木佐貫 彰，内村友則，桑原栄嗣，湯浅敏典，仲敷健一，河野美穂子，窪田佳代子，水上尚子，野口慶久，中村幸美，大園七瀬，高崎州亜，鄭 忠和：心房細動における左房壁細動ストレイン解析法の検討. 第57回日本心臓病学会学術集会，札幌，2009.9
 26. 仲敷健一，木佐貫彰，湯浅敏典，桑原栄嗣，植村健，高崎州亜，窪田佳代子，河野美穂子，植屋奈美，水上尚子，内村友則，鄭 忠和：僧帽弁逸脱症に対する心エコー診断 術前評価としてのリアルタイム3次元経食道心エコー法の有用性. 第57回日本心臓病学会学術集会，札幌，2009.9
 27. 植屋奈美，湯浅敏典，河野美穂子，窪田佳代子，水上尚子，桑原栄嗣，高崎州亜，仲敷健一，木佐貫 彰，濱崎秀一，鄭 忠和：僧帽弁逸脱症における僧帽弁 tenting の重要性 3D 経食道エコー法を用いた検討. 第57回日本心臓病学会学術集会，札幌，2009.9
 28. 檜柑富貴子：看護師における「患者の死」の捉え方」と「困難なターミナルケア内容」との関連. 第40回日本看護学会(成人看護Ⅱ)，鳥取市，2009.9.3
 29. 杉野朋子，丹羽さよ子：施設入所高齢者のケアニーズに関する研究－【魅力的品質・当り前品質】の概念を用いて－. 第14回日本老年看護学会学術集会，札幌市，2009.9.26
 30. 湯浅敏典，植屋奈美，河野美穂子，窪田佳代子，桑原栄嗣，高崎州亜，木佐貫 彰，菰方輝夫，井畔能文，鄭 忠和：食道癌術後に胃管と心嚢が交通し 収縮性心膜炎様超音波所見を示した1例. 第19回日本超音波医学会九州地方会学術集会，福岡，2009.10
 31. 今村利香，高山忠雄¹⁾（¹⁾鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科）：福祉機関における IT 整備状況と e ラーニングシステムを用いた DV 研修に関する研究. 日本社会福祉学会第57回全国大会，東京都町田市，2009.10.11
 32. 新地洋之，又木雄弘¹⁾，蔵原 弘¹⁾，前村公成¹⁾，迫田雅彦¹⁾，上野真一¹⁾，北菌正樹¹⁾，夏越祥次¹⁾，高尾尊身¹⁾（¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）：膵癌に対する個別化治療を目指した新たな戦略. 第47回日本癌治療学会，横浜市，2009.10.24
 33. Eiji Kuwahara, Yutaka Otsuji, Tetsuya Ueno, Yoshifumi Iguro, Akira Kisanuki, Toshinori Yuasa, Kayoko Kubota, Mihoko Kono, Kunitsugu Takasaki, Shuichi Hamasaki, Ryuzo Sakata, Chuwa Tei: Tethering Reduction Procedures for Restrictive Annuloplasty in Ischemic Mitral Regurgitation: Improved Anterior Mitral Leaflet Tethering Associated with More Effective Mid-Term Outcome in Patients With Advanced Left 82th American Heart Association Scientific Session, Orlando, USA, 2009.11
 34. 中村友子¹⁾，南修子¹⁾，川崎恵¹⁾，江口恵子²⁾，堤由美子（¹⁾鹿児島大学大学院保健学研究科，²⁾霧島市立医師会医療センター）：悪い知らせにより衝撃的狀態にある人への看護ケア能力向上のための試み（第1報）トレーニングプログラム案の試用を通して. 第14回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会抄録集，p47，宮崎大学医学部（清武キャンパス），2009.11.7
 35. 今村利香：福祉・行政・医療機関での DV 教育研修に関する追跡調査研究～研究低回収率の原因を探るために～. 第22回日本保健福祉学会学術集会，仙台市，2009.11.14
 36. 新地洋之，又木雄弘¹⁾，蔵原 弘¹⁾，野間秀歳¹⁾，前村公成¹⁾，上野真一¹⁾，迫田雅彦¹⁾，北菌正樹¹⁾，夏越祥次¹⁾，高尾尊身¹⁾（¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）：正常膵に対する簡便で安全確実な膵胃密着縫合法. 第71回日本臨床外科学会，京都市，2009.11.21

業績目録

37. 小原まゆみ¹⁾, 堤由美子, 高崎絹子²⁾ (¹⁾鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校, ²⁾放送大学・大学院) : 現代的母性意識の特徴の分析－異なる世代間比較を予備的に実施してみた. 第29回日本看護科学学会学術集会講演集, p451, 幕張メッセ国際会議場, 2009.11.28
38. 新地洋之, 又木雄弘¹⁾, 蔵原 弘¹⁾, 野間秀歳¹⁾, 前村公成¹⁾, 北菌正樹¹⁾, 上野真一¹⁾, 迫田雅彦¹⁾, 夏越祥次¹⁾, 高尾尊身¹⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科) : 局所進行切除不能膀胱癌に対する staging laparoscopy の経験. 第22回日本内視鏡外科学会総会, 東京都, 2009.12.5

D. その他

1) 論文・報告書

1. 新地洋之 : 第46回日本癌治療学会報告集「TS-1 を用いた進行膵・胆道癌の治療戦略」. 大鵬薬品提供, 2009.1
2. 新地洋之 : 手術不能膀胱癌に対する経口 TS-1 併用化学放射線療法－第 II 相臨床試験－. がん治療のあゆみ (平成19年度 第28回一般研究助成報告書) ; 27 : 19-24, 2009.3
3. 新地洋之 : Medical Tribune 紙 がん治療最前線から 第23回冬期札幌がんセミナー「手術不能膀胱癌に対する S-1 併用放射線化学療法」, 2009.4.9
4. 今村利香, 中馬育子, 白川真紀, 石澤隆¹⁾, 北菌正樹²⁾, 櫻木真理子³⁾, 高崎靖子⁴⁾, 宮菌幸江⁵⁾, 武亜希子⁵⁾, 室上成美⁶⁾, 二見江梨子⁷⁾, 下前百合香⁸⁾, 真方美紀⁹⁾, 松元瞳⁵⁾, 有村夕加⁵⁾, 片平亜由美⁵⁾, 窪田溜¹⁰⁾ (¹⁾元鹿児島大学医学部保健学科, ²⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科, ³⁾鹿児島市医師会病院, ⁴⁾かねこクリニック, ⁵⁾鹿児島大学病院, ⁶⁾鹿屋医療センター, ⁷⁾今給黎総合病院, ⁸⁾今給黎総合病院, ⁹⁾鹿児島市市立病院, ¹⁰⁾日本オストミー協会鹿児島こだま会) : 第13回ストーマリハビリテーションの基本. 鹿児島大学医学部保健学科臨床看護学講座公開講座「ストーマリハビリテーションの基本」事務局, 1-72, 2009.7.4
5. 今村利香, 中馬育子, 白川真紀, 石澤隆¹⁾, 北菌正樹²⁾, 小濱智美³⁾, 櫻木真理子⁴⁾, 高崎靖子⁵⁾, 下前百合香⁶⁾, 牧尾沙織⁷⁾, 宮菌幸江⁸⁾, 武亜希子⁸⁾, 窪田溜⁹⁾ (¹⁾元鹿児島大学医学部保健学科, ²⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科, ³⁾県立薩南病院, ⁴⁾鹿児島市医師会病院, ⁵⁾かねこクリニック, ⁶⁾今給黎総合病院, ⁷⁾川内市医師会病院, ⁸⁾鹿児島大学病院, ⁹⁾日本オストミー協会鹿児島こだま会) : ストーマ公開講座が参加者に及ぼす教育効果について. 鹿児島大学生涯学習教育研究センター年報 ; 6 : 48-52, 2009.10.30
6. 今村利香, 峰和治¹⁾, 高山忠雄²⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科, ²⁾鹿児島国際大学大学院社会福祉学研究科) : DV 被害者支援専門員の教育システム開発に関する研究. 平成20年度科研費補助金実績報告書, 2009
7. 今村利香 : 公開講座「ストーマリハビリテーションの基本」とこだま会, 鹿児島こだま会結成30周年記念誌, 日本オストミー協会, 2009 : 8-9

2) 講演

1. 清水佐智子 : 「実習指導の評価 I ①」. 平成20年度実習指導者講習会, 鹿児島県看護協会, 鹿児島市, 2009.1.8
2. 丹羽さよ子 : 「教育課程 (老年看護)」. 平成20年度実習指導者講習会, 鹿児島県看護協会, 鹿児島市, 2009.1.9
3. 清水佐智子 : 「実習指導の評価 I ②」. 平成20年度実習指導者講習会, 鹿児島県看護協会, 鹿児島市, 2009.1.16
4. 堤由美子 : 看護論. 鹿児島県実習指導者講習会, 鹿児島市, 2009.1.19-20
5. 堤由美子 : 精神看護学の教育課程. 鹿児島県実習指導者講習会, 鹿児島市, 2009.1.27
6. 堤由美子 : 統合的学習のための事例とその展開法. 鹿児島県看護教育専任教員再教育事業研修会, 鹿児島市, 2009.2.4
7. 新地洋之 : 手術不能膀胱癌に対する S-1 併用放射線化学療法. 第23回冬期札幌がんセミナー, 札幌市, 2009.2.8
8. 堤由美子 : 看護学から見た精神病患者について. 鹿児島県地方務局人権擁護委員会研修会, 鹿児島市, 2009.2.17
9. 丹羽さよ子 : リハビリテーション看護実践についての講演・研究指導. 鹿児島県リハビリテーション看護研究会, 鹿児島市, 2009.2.28
10. 清水佐智子 : 平成20年度第2回再就業支援のための研修体制整備モデル事業検討会, 鹿児島県保健福祉課, 鹿児島市, 2009.3.4
11. 堤由美子 : 看護研究の進め方とその実際 (全2回). 霧島市立医師会医療センター看護部研修会, 霧島市, 2009.3.7, 12.19
12. 新地洋之 : 膀胱癌の診断と治療. 日本イーライリリー株式会社主催「Web-レクチャー」鹿児島大学, 2009.3.9
13. 丹羽さよ子 : 高齢者と地域ケア. かがしまるNESSانسアカデミー (鹿児島大学), 鹿児島市, 2009.3.27
14. 堤由美子 : 心の看護ケアのために (全4回). 霧島市立医師会医療センター看護部研修会, 霧島市, 2009.6.6, 10.31

業 績 目 録

15. 堤由美子：がん患者の心理的過程とその支援（全3回）．平成21年度鹿児島県がん看護における質の高い看護師育成事業，鹿児島市，2009.6.15-6.24.
16. 緒方重光：南高等学校出前講義，鹿児島市，2009.6.16.
17. 清水佐智子：「臨床指導者研修」．平成21年度看護部研修，鹿児島大学医学部附属病院，鹿児島市，2009.6.18
18. 今村利香：「母子生活支援施設職員に必要なDV被害者支援教育について」．第17回鹿児島県母子生活支援施設協議会職員研修会，出水市，2009.6.18-6.19
19. 新地洋之：最近の膀胱癌の診断と治療について－最適な個別化治療をめざして－．大隈地区学術講演会，鹿屋市，2009.6.18
20. 丹羽さよ子：リハビリテーション看護とは．鹿児島大学病院霧島リハビリテーションセンター看護師研修会，霧島市，2009.6.19
21. 清水佐智子：「要点をおさえた看護記録の書き方・読み方」．日総研セミナー，大阪市，2009.6.20
22. 堤由美子：心に届く看護．国立病院機構都城病院看護部研修会，都城市，2009.6.27
23. 堤由美子：看護研究の基礎（全3回）．平成21年度鹿児島県看護協会スペシャリストの準備教育のための研修会，鹿児島市，2009.7.4, 10.25
24. 清水佐智子：「要点をおさえた看護記録の書き方・読み方」．日総研セミナー，東京都，2009.7.4
25. 今村利香，中馬育子，白川真紀，石澤隆¹⁾，北菌正樹²⁾，櫻木真理子³⁾，高崎靖子⁴⁾，宮菌幸江⁵⁾，武亜希子⁵⁾，室上成美⁶⁾，二見江梨子⁷⁾，下前百合香⁸⁾，真方美紀⁹⁾，松元瞳⁵⁾，有村夕加⁵⁾，片平亜由美⁵⁾，窪田溜¹⁰⁾（¹⁾元鹿児島大学医学部保健学科，²⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科，³⁾鹿児島市医師会病院，⁴⁾かねこクリニック，⁵⁾鹿児島大学病院，⁶⁾鹿屋医療センター，⁷⁾今給黎総合病院，⁸⁾今給黎総合病院，⁹⁾鹿児島市市立病院，¹⁰⁾日本オストミー協会鹿児島こだま会）：オストメイトに対する社会福祉制度．第13回ストーマリハビリテーションの基本」，鹿児島大学医学部保健学科公開講座，鹿児島市，2009.7.4
26. 清水佐智子：成人看護学「リラクゼーション」．龍門学（総合学習），鹿児島県立加治木高等学校，加治木町，2009.7.9
27. 丹羽さよ子：リハビリテーション看護とは．鹿児島県リハビリテーション看護研究会，鹿児島市，2009.7.18
28. 堤由美子：危機的状況にある人への援助．鹿児島がん看護研究会リーダー養成講習会，2009.7.25-26
29. 清水佐智子：「看護記録研修Ⅰ」．特別医療法人博愛会 相良病院，鹿児島市，2009.7.30
30. 清水佐智子：「看護記録研修Ⅱ」．特別医療法人博愛会 相良病院，鹿児島市，2009.8.6
31. 緒方重光：訪問看護師養成講習会，鹿児島市，2009.8.8
32. 今村利香，中村秀敏¹⁾（¹⁾小倉第一病院）：平成20年度科研費補助金実績報告・eラーニング鹿児島勉強会「eラーニングを活用した医療・福祉教育の可能性」，鹿児島市，2009.8.8
33. 堤由美子：看護サービス提供論（全2回），日本看護協会鹿児島県支部ファーストレベル研修会，2009.9.1-10
34. 丹羽さよ子：リハビリテーション看護－最期までその人らしさを支える－．鹿児島大学医学部保健学科公開講座，鹿児島市，2009.9.5
35. 堤由美子：心の病いと看護．鹿児島いのちの電話協会平成21年度ボランティア養成講座，鹿児島市，2009.9.10
36. 丹羽さよ子：健康寿命を保つために．高齢者中央大学（鹿児島県社会福祉協議会），指宿市，2009.9.18
37. 堤由美子：看護の考え方とその実践法．放送大学教養学部鹿児島学習センター平成21年度第2学期面接授業，鹿児島市，2009.10.17-18
38. 丹羽さよ子：看護研究について．社団法人鹿児島共済会南風病院看護研修会，鹿児島市，2009.10.23
39. 丹羽さよ子：看護研究の基礎－調査用紙の作成と統計処理－．社団法人鹿児島共済会南風病院看護研修会，鹿児島市，2009.11.6
40. 堤由美子：病者の心理とその看護．相模女子大学同窓会双葉会講演会，鹿児島市，2009.11.15
41. 堤由美子：看護研究のまとめ方．日本精神科看護技術協会鹿児島県支部研修会，鹿児島市，2009.12.8
42. 堤由美子：がん患者の心の軌跡－研究成果を臨床に活かすためにⅡ．鹿児島がん看護研究会，鹿児島市，2009.12.12.
43. 清水佐智子：「看護とは」．鹿児島県合同進学ガイダンス（文部科学省 戦略的大学連携支援事業）戦略的大学連携推進会議，鹿児島市，2009.12.13

〔母性・小児看護学講座〕

A. 著書

1. 武井修治：若年性特発性関節炎. 今日の治療指針51 (山口徹, 北原光夫, 福井次矢編), 医学書院, 東京, 2009,1, p1022-1023
2. 武井修治：若年性関節リウマチとはどんな病気か. よくわかる関節リウマチのすべて(宮坂信之編), 永井書店, 東京, 2009, p139-157
3. 武井修治：若年性特発性関節炎. トシリズマブ治療の理論と実際2009 (武井修治, 横田俊平監), メディカルレビュー社, 東京, 2009,3
4. 武井修治：新生児にみられる自己免疫異常. ひらかれた小児リウマチ診療 (野間 剛編), セカンド社, 東京, 2009,5, p35-38
5. 武井修治：生物学的製剤による診療の実際. ひらかれた小児リウマチ診療 (野間 剛編), セカンド社, 東京, 2009,5, p85-86
6. 武井修治：期待される多様な分野への臨床応用—小児疾患. 生物学的製剤による難病の治療革命 (田中良哉), 日本医学出版社, 東京, 2009,9, p107-114

B. 論文

1. 武井修治：Adalimumab と tocilizumab. 分子リウマチ治療2009 ; 2 : 43
2. 武井修治：若年性関節リウマチ (JRA) に対する adalimumab の有効性— methotrexate 併用で有効性が高まるか?. 内科2009 ; 103(4) : 783-785
3. 武井修治：四肢・関節痛の鑑別診断のポイント. 臨床と研究2009 ; 86(4) : 457-462
4. Ishikawa S¹⁾, Mima T¹⁾, Aoki C¹⁾, Hoshino N¹⁾, Hoshino Y¹⁾, Adachi N¹⁾, Imagawa T²⁾, Mori M²⁾, Tomiita M³⁾, Iwata N⁴⁾, Murata T⁵⁾, Miyoshi M⁶⁾, Takei S, Aihara Y²⁾, Yokota S²⁾, Matsubara K¹⁾, Nishimoto N¹⁾ (¹⁾Osaka University, ²⁾Yokohama Municipal University, ³⁾Chiba University, ⁴⁾Aichi Pediatric Medical Center, ⁵⁾Osaka Medical College, ⁶⁾Hyogo Children's Hospital): Abnormal expression of the genes involved in cytokine networks and mitochondrial function in systemic juvenile idiopathic arthritis identified by DNA microarray analysis. Ann Rheum Dis 2009; 68: 264-272
5. Mima T¹⁾, Ishikawa S¹⁾, Aoki C¹⁾, Yoshio-Hoshino N¹⁾, Adachi Y¹⁾, Imagawa T²⁾, Mori M²⁾, Tomiita M³⁾, Iwata N⁴⁾, Murata T⁵⁾, Miyoshi M⁶⁾, Takei S, Aihara Y²⁾, Yokota S²⁾, Matsubara K¹⁾, Nishimoto N¹⁾ (¹⁾Osaka University, ²⁾Yokohama Municipal University, ³⁾Chiba University, ⁴⁾Aichi Pediatric Medical Center, ⁵⁾Osaka Medical College, ⁶⁾Hyogo Children's Hospital): Interleukin-11 and paired immunoglobulin-like type 2 receptor alpha expression correlate with the number of joints with active arthritis in systemic juvenile idiopathic arthritis. Ann Rheum Dis 2009; 68: 286-287
6. 武井修治：疾患別ステロイドの使い方—全身性エリテマトーデス. 小児内科2009 ; 41(5) : 741-745
7. 武井修治：免疫抑制薬の臨床応用実践論 若年性特発性関節炎. 炎症と免疫2009 ; 17(4) : 451-456
8. 武井修治：小児リウマチ性疾患の医療連携. 小児科臨床2009 ; 62(9) : 2003-2008
9. 武井修治：思春期へキャリアオーバーした疾患を持つ患者への対応—膠原病. 小児科2009 ; 50 : 1875-1880
10. 武井修治：若年性特発性関節炎 (JIA) に対する生物学的製剤の展開. 日本小児科学会雑誌2009 ; 113 : 1538-1544
11. 武井修治：全身型 JIA のマクロファージ活性化症候群とサイトカイン. Frontiers in Rheumatology & Clinical Immunology 2009; 3(4): 214-216
12. 武井修治：小児膠原病における免疫抑制薬の有用性と使い方. 日本小児皮膚科学会雑誌2009 ; 28(2) : 180-186
13. Iwamoto I¹⁾, Fujino T, Hiraki T²⁾, Douchi T¹⁾ (¹⁾鹿児島大学医学部産婦人科, ²⁾鹿児島大学第2病棟) : Vesicovaginal and ileovesical fistulas in an elderly patient with Crohn's disease. 日本産婦人科学会鹿児島地方部会雑誌2009 ; 17 : 17-20
14. 牛之濱久代¹⁾, 宮菌夏代, 下敷領須美子 (¹⁾四日市看護医療大学看護学部) : インドネシアにおける地域助産婦の役割と課題—西カリマンタン州サンガウ県僻村勤務の地域助産婦を事例に一. 四日市看護医療大学紀要2009 ; 2 : 57-67
15. 山下早苗：乳幼児の発病時における母親の家庭での判断と対処, 外来小児科. 日本外来小児科学会2009 ; 12(3) : 370-373

C. 学会発表

1. 嶽崎智子, 今中啓之, 根路銘安仁, 野中由希子, 赤池治美, 前野伸昭, 鉄田直美, 安村純子, 山崎雄一, 久保田知洋, 鎌之原昌¹⁾, 河野嘉文, 岡藤郁夫²⁾, 西小森隆太²⁾, 中尾久美子, 武井修治 (¹⁾今給黎総合病院小児科, ²⁾京都大学小児科) : Infliximab が有効であった若年性サルコイドーシスの3例. 第5回九州小児免疫フォーラム, 福岡市, 2009. 2. 7
2. 武井修治：若年性特発性関節炎の診断と治療. 完治寛解をめざして. 日本小児科学会熊本地方会, 熊本市, 2009. 2. 8

業 績 目 録

3. 山崎雄一, 野中由希子, 鎌田直美, 安村純子, 赤池治美, 嶽崎智子¹⁾, 根路銘安仁, 前野伸昭²⁾, 今中啓之, 河野嘉文, 武井修治 (¹⁾総合病院鹿児島生協病院小児科, ²⁾宮崎小児科) : Reflex Sympathetic Dystrophy (RSD) と診断した小児2例. 第37回九州リウマチ学会, 長崎市, 2009. 3. 14-15
4. 石川珠代, 鎌田直美, 山崎雄一, 安村純子, 野中由希子, 根路銘安仁, 今中啓之, 武井修治 : グルテン除去食が著効した Sjogren 症候群の1例. 第37回九州リウマチ学会, 長崎市, 2009. 3. 14-15
5. 武井修治 : 難治性若年性特発性関節炎に対する生物学的製剤の展開. 第112回日本小児科学会教育講演, 奈良, 2009. 4. 19
6. 根路銘安仁, 武井修治 : 小児に対する抗 TNF 療法—インフリキシマブ. 第53回日本リウマチ学会, 東京都, 2009. 4. 25
7. 武井修治 : 小児リウマチ性疾患の診断と治療. 第53回日本リウマチ学会教育講演, 東京都, 2009. 4. 26
8. 原 良紀¹⁾, 今川智之¹⁾, 宮前多佳子¹⁾, 森雅亮¹⁾, 梅林宏明²⁾, 岩田直美³⁾, 富板美奈子⁴⁾, 村田卓志⁵⁾, 三好麻里⁶⁾, 武井修治, 西本憲弘⁷⁾, 横田俊平¹⁾ (¹⁾横浜市立大学小児科, ²⁾宮城こども病院小児科, ³⁾あいち小児保健医療総合センター, ⁴⁾千葉大学小児科, ⁵⁾大阪医科大学小児科, ⁶⁾兵庫県立子ども病院, ⁷⁾和歌山県立医科大学免疫制御学) : トシリズマブの全身型若年性特発性関節炎に対する長期投与の検討. 第53回日本リウマチ学会, 東京都, 2009. 4. 23
9. 前田和崇¹⁾, 武井修治, 今中啓之, 根路銘安仁, 野中由希子, 前野伸昭²⁾ (¹⁾長崎県立島原病院リハビリセンター, ²⁾宮崎小児科) : JIA における手根骨長と関節破壊の関連について, 第53回日本リウマチ学会, 東京都, 2009. 4. 23
10. 鎌田直美, 安村純子, 山崎雄一, 久保田知洋, 赤池治美, 野中由希子, 根路銘安仁, 嶽崎智子¹⁾, 前野伸昭²⁾, 今中啓之, 今川智之³⁾, 岩田直美³⁾, 富板美奈子³⁾, 小林信一³⁾, 金城紀子³⁾, 梅林宏明³⁾, 村田卓士³⁾, 横田俊平³⁾, 武井修治 (¹⁾総合病院鹿児島生協病院, ²⁾宮崎小児科, ³⁾日本小児リウマチ学会小児 SLE 研究班) : 小児 SLE の予後の変遷と関連因子—全国調査2008の結果から. 第53回日本リウマチ学会, 東京, 2009. 4. 23
11. 安村純子, 今中啓之, 鎌田直美, 根路銘安仁, 野中由希子, 山崎雄一, 久保田知洋, 嶽崎智子¹⁾, 赤池治美²⁾, 前野伸昭³⁾, 重森雅彦⁴⁾, 森浩純⁵⁾, 銚之原 昌⁶⁾, 武井修治 (¹⁾総合病院鹿児島生協病院小児科, ²⁾県立やまびこ整肢園, ³⁾宮崎小児科, ⁴⁾南九州病院小児科, ⁵⁾森小児科, ⁶⁾今給黎総合病院小児科) : 小児期発症 SLE にみられた帯状疱疹の検討. 第53回日本リウマチ学会, 東京, 2009. 4. 23
12. 野中由希子, 今中啓之, 根路銘安仁, 前野伸昭¹⁾, 嶽崎智子²⁾, 赤池治美³⁾, 鎌田直美, 安村純子, 山崎雄一, 久保田知洋, 武井修治 (¹⁾宮崎小児科, ²⁾総合病院鹿児島生協病院小児科, ³⁾県立やまびこ整肢園) : 小児線維筋痛症の診断におけるスクリーニング検査の検討. 第53回日本リウマチ学会, 東京, 2009. 4. 23
13. 山崎雄一, 鎌田直美, 根路銘安仁, 今中啓之, 野中由希子, 安村純子, 前野伸昭, 嶽崎智子, 赤池治美, 武井修治 (¹⁾宮崎小児科, ²⁾総合病院鹿児島生協病院小児科, ³⁾県立やまびこ整肢園) : 反射性交感神経性ジストロフィー RDS と診断した小児の2症例. 第53回日本リウマチ学会, 東京, 2009. 4. 23
14. 野中由希子, 塗木雄一朗, 根路銘安仁, 今中啓之, 赤池治美¹⁾, 嶽崎智子²⁾, 河野嘉文, 武井修治 (¹⁾県立やまびこ整肢園, ²⁾総合病院鹿児島生協病院小児科) : 線維筋痛症圧痛点を利用した不定愁訴評価の有用性. 第27回日本小児心身医学会, 東京, 2009. 6. 6-7
15. 武井修治 : 小児膠原病における免疫抑制薬の有用性とその使い方(教育講演). 第33回日本小児皮膚科学会, 千葉幕張, 2009.7.5
16. 富板美奈子¹⁾, 武井修治, 鎌田直美, 野中由希子, 斎藤公幸¹⁾, 有馬孝恭¹⁾, 森田慶紀¹⁾, 中野泰至¹⁾, 下条直樹¹⁾, 河野陽一¹⁾ (¹⁾千葉大学小児科) : 若年シェーグレン症候群患者における, ピロカルピン塩酸塩の安全性と有効性の検討. 第18回日本シェーグレン症候群学会, 福岡, 2009. 9. 3-4
17. 根路銘安仁, 鎌田直美, 安村純子, 山崎雄一, 久保田知洋, 赤池治美¹⁾, 野中由希子, 嶽崎智子²⁾, 前野伸昭³⁾, 今中啓之, 銚之原昌, 武井修治 (¹⁾県立やまびこ整肢園, ²⁾総合病院鹿児島生協病院小児科, ³⁾宮崎小児科) : トシリズマブ投与中における MAS の早期診断の試み. 第38回九州リウマチ学会, 久留米市, 2009. 9. 5
18. 安村純子, 根路銘安仁, 今中啓之, 野中由希子, 山崎雄一, 鎌田直美, 前野伸昭¹⁾, 赤池治美²⁾, 武井修治, 嶽崎智子³⁾, 久保田知洋, 銚之原昌⁴⁾ (¹⁾宮崎小児科, ²⁾県立やまびこ整肢園, ³⁾総合病院鹿児島生協病院小児科, ⁴⁾今給黎総合病院小児科) : トシリズマブ加療中に感染性胃腸炎で CRP 上昇をきたした全身型若年性特発性関節炎. 第38回九州リウマチ学会, 久留米市, 2009. 9. 5-6
19. 久保田知洋, 安村純子, 山崎雄一, 鎌田直美, 赤池治美¹⁾, 野中由希子, 嶽崎智子²⁾, 前野伸昭³⁾, 今中啓之, 銚之原 昌⁴⁾, 武井修治 (¹⁾県立やまびこ整肢園宮崎小児科, ²⁾総合病院鹿児島生協病院小児科, ³⁾宮崎小児科, ⁴⁾今給黎総合病院小児科) : JIA に対する生物学的製剤の現状と問題点—導入時の状況. 第38回九州リウマチ学会, 久留米市, 2009. 9. 5-6
20. 鎌田直美, 安村純子, 山崎雄一, 久保田知洋, 赤池治美¹⁾, 野中由希子, 嶽崎智子²⁾, 前野伸昭³⁾, 今中啓之, 銚之原 昌⁴⁾,

業績目録

- 武井修治 (1) 県立やまびこ整肢園宮崎小児科, (2) 総合病院鹿児島生協病院小児科, (3) 宮崎小児科, (4) 今給黎総合病院小児科) : JIA に対する生物学的製剤の現状と問題点—有効性と安全性. 第38回九州リウマチ学会, 久留米市, 2009. 9. 5-6
21. 鎌田直美, 安村純子, 山崎雄一, 久保田知洋, 赤池治美¹⁾, 野中由希子, 嶽崎智子²⁾, 前野伸昭³⁾, 今中啓之, 根路銘安仁, 鉦之原昌⁴⁾, 武井修治 (1) 県立やまびこ整肢園宮崎小児科, (2) 総合病院鹿児島生協病院小児科, (3) 宮崎小児科, (4) 今給黎総合病院小児科) : JIA に対する生物学的製剤の現状と問題点—有効性と安全性. 第19回日本小児リウマチ学会, 京都市, 2009. 10. 2-4
 22. 安村純子, 根路銘安仁, 今中啓之, 野中由希子, 山崎雄一, 鎌田直美, 前野伸昭¹⁾, 赤池治美²⁾, 武井修治, 嶽崎智子³⁾, 久保田知洋, 鉦之原昌⁴⁾ (1) 宮崎小児科, (2) 県立やまびこ整肢園, 宮崎小児科, (3) 総合病院鹿児島生協病院小児科, (4) 今給黎総合病院小児科) : トシリズマブ加療中に感染性胃腸炎で CRP 上昇をきたした全身性若年性特発性関節炎. 第19回日本小児リウマチ学会, 京都市, 2009. 10. 2-4
 23. 安村純子, 山崎雄一, 赤池治美¹⁾, 根路銘安仁, 鎌田直美, 野中由希子, 嶽崎智子²⁾, 今中啓之, 武井修治 (1) 県立やまびこ整肢園, (2) 総合病院鹿児島生協病院小児科) : 当科で経験した複合性局所疼痛症候群 (CRPS) Type I の4症例. 第19回日本小児リウマチ学会, 京都市, 2009. 10. 2-4
 24. 山崎雄一: シンポジウム JIA 患者に対するトシリズマブ使用のこつ TCZ 投与中における MAS 早期診断の試み. 第19回日本小児リウマチ学会, 京都市, 2009. 10. 3
 25. 武井修治: 小児リウマチ性疾患の社会的リハビリテーション. 第19回日本小児リウマチ学会, 京都市, 2009. 10. 4
 26. Nishimoto N¹⁾, Kawata Y¹⁾, Lee HM¹⁾, Aoki C¹⁾, Adachi Y¹⁾, Sugino H¹⁾, Imagawa T²⁾, Mori M²⁾, Tomiita M³⁾, Iwata N⁴⁾, Murata T⁵⁾, Miyoshi M⁶⁾, Takei S, Aihara Y²⁾, Ochi T⁷⁾, Yokota S²⁾. (1) Wakayama University, (2) Yokohama Municipal University, (3) Chiba University, (4) Aichi Pediatric Medical Center, (5) Osaka Medical College, (6) Hyogo Children's Hospital, (7) Osaka University) : Peripheral blood gene expression that account for predictability of long-term clinical response to tocilizumab in systemic-onset juvenile idiopathic arthritis patients. American College of Rheumatology 2009, Philadelphia 2009. 10. 24
 27. 安村純子, 山崎雄一, 赤池治美¹⁾, 根路銘安仁, 鎌田直美, 野中由希子, 嶽崎智子²⁾, 今中啓之, 武井修治 (1) 県立やまびこ整肢園, (2) 総合病院鹿児島生協病院小児科) : 当科で経験した複合性局所疼痛症候群 (CRPS) Type I の4症例. 第24回日本臨床リウマチ学会, 盛岡市, 2009. 11. 20
 28. 白川真紀, 八代利香, 吉留厚子, 吉田愛知: 住みなれた島で最期をむかえることのできない島民の現状. 第2回日本看護倫理学会, 佐久市, 2009. 6. 6
 29. Itoko Hayashi, Atsuko Yoshidome: Changes in the attitude of Japanese high school students before and after sex education. 19th WAS World Congress for Sexual Health Goteborg, Sweden, June 21-25, 2009
 30. Atsuko Yoshidome: Maternal and Child Health in Kagoshima Prefecture, Japan (First Report) —Crisis of Midwives—. The 7th International Nursing Conference (INC 2009), Seoul, Korea, October 29-30, 2009
 31. Rika Yatsushiro, Saori Yamaguchi, Atsuko Yoshidome: Survey on educational needs to certified nurse specialization among nurses in kagoshima prefecture. The 7th International Nursing Conference (INC 2009), Seoul, Korea October 29-30, 2009
 32. 下敷領須美子, 宮菫夏美, 牛之濱久代¹⁾, 新名主雪絵²⁾, 生田まちよ³⁾, 桑原秀雄⁴⁾ (1) 四日市看護医療大学看護学部, (2) 鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校非常勤, (3) 熊本大学医学部保健学科, (4) 鹿児島大学法文学部) : インドネシアにおける高校生性の差観—西カリマンタン州サンガウ県を事例に—. 第24回日本国際保健医療学会学術大会, 2009. 8. 6
 33. 牛之濱久代¹⁾, 宮菫夏美, 下敷領須美子, 生田まちよ²⁾ (1) 四日市看護医療大学看護学部, (2) 熊本大学医学部保健学科) : インドネシア・西カリマンタン州サンガウ県における地域助産婦の活動. 第24回日本国際保健医療学会学術大会, 2009. 8. 6
 34. 平佐田和代¹⁾, 宮菫夏美, 下敷領須美子, 嶽崎俊郎¹⁾ (1) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科) : 大洋州地域保健医療における包括的予防対策コースの報告. 第24回日本国際保健医療学会学術大会, 2009. 8. 6
 35. 宮菫夏美, 下敷領須美子, 牛之濱久代¹⁾, 生田まちよ²⁾, 桑原秀雄³⁾, 新名主雪絵⁴⁾ (1) 四日市看護医療大学看護学部, (2) 熊本大学医学部保健学科, (3) 鹿児島大学法文学部, (4) 鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校非常勤) : インドネシア・西カリマンタン州における地域住民の性行動と生殖に関する研究—ポンティアナクを事例に—. 第24回日本国際保健医療学会学術大会, 2009. 8. 6
 36. 生田まちよ¹⁾, 宮菫夏美, 牛之濱久代²⁾, 下敷領須美子, 桑原秀雄³⁾ (1) 熊本大学医学部保健学科, (2) 四日市看護医療大学看護学部, (3) 鹿児島大学法文学部) : インドネシア・西カリマンタン州におけるダヤック族における乳幼児の食習慣に関する研究. 第24回日本国際保健医療学会学術大会, 2009. 8. 6
 37. 下敷領須美子: 鹿児島における高校生のデート DV の現状. 第23回鹿児島県小児保健学会 特別演題, 2009. 8. 30

業 績 目 録

38. Natsumi Miyazono, Hisayo Ushinohama¹⁾, Sumiko Shimoshikiryo, Sueo Kuwahara, M. A.²⁾, Etsuko Matsuoka³⁾, Purnamawati, M.L.⁴⁾, Sri Sunarti Purwaningsih⁵⁾, Machiyo Ikuta⁶⁾ (¹⁾Department of Nursing, Faculty of Nursing, Yokkaichi Nursing and Medical Care University, ²⁾Faculty of Law, Economics and Humanities, Kagoshima University, ³⁾Faculty of Human Life and Environment, Nara Women University, ⁴⁾Graduate School of Humanistic-Sociological Sciences, Kagoshima University, ⁵⁾Research Center for Population, Indonesian Institute of Sciences, ⁶⁾Department of Health and Sciences, Faculty of Medicine, University of Kumamoto): The Actual Situation and Issues of Community Midwives Activities in West Kalimantan State, Indonesia. The 1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, Kobe, 2009. 9. 20.
39. 宮 蘭 夏 美, 牛 之 濱 久 代¹⁾, 下 敷 領 須 美 子, 生 田 ま ち よ²⁾, 松 岡 悦 子³⁾, 新 名 主 雪 絵⁴⁾, (¹⁾四 日 市 看 護 医 療 大 学 看 護 学 部, ²⁾熊 本 大 学 医 学 部 保 健 学 科, ³⁾奈 良 女 子 大 学 生 活 環 境 学 部) : イ ン ド ネ シ ア の 西 カ リ マ ン タ ン 州 ポ ン テ ィ ア ナ ク 市 の ジ ェ ン ダ ー と リ プ ロ ダ ク テ ィ ブ ヘ ル ス に 関 す る 研 究. 第 50 回 日 本 母 性 衛 生 学 会, 2009. 9. 27
40. 牛 之 濱 久 代¹⁾, 下 敷 領 須 美 子, 宮 蘭 夏 美, 生 田 ま ち よ²⁾, 松 岡 悦 子³⁾ (¹⁾四 日 市 看 護 医 療 大 学 看 護 学 部, ²⁾熊 本 大 学 医 学 部 保 健 学 科, ³⁾奈 良 女 子 大 学 生 活 環 境 学 部) : イ ン ド ネ シ ア の 西 カ リ マ ン タ ン 州 に お け る 高 校 生 へ の 性 教 育. 第 50 回 日 本 母 性 衛 生 学 会, 2009. 9. 27
41. 下 敷 領 須 美 子, 宮 蘭 夏 美, 牛 之 濱 久 代¹⁾, 生 田 ま ち よ²⁾, 松 岡 悦 子³⁾, 新 名 主 雪 絵⁴⁾, 有 倉 巳 幸⁵⁾ (¹⁾四 日 市 看 護 医 療 大 学 看 護 学 部, ²⁾熊 本 大 学 医 学 部 保 健 学 科, ³⁾奈 良 女 子 大 学 生 活 環 境 学 部 生 活 環 境 学 科, ⁴⁾鹿 児 島 医 療 セ ン タ ー 附 属 鹿 児 島 看 護 学 校 非 常 勤 講 師, ⁵⁾鹿 児 島 大 学 教 育 学 部 心 理 学 科) : イ ン ド ネ シ ア に お け る 高 校 生 の DV に 関 す る 認 識—西 カ リ マ ン タ ン 州 サ ン ガ ウ 県 の 調 査 結 果 よ り 一. 第 50 回 日 本 母 性 衛 生 学 会, 2009. 9. 28
42. 新 名 主 雪 絵¹⁾, 下 敷 領 須 美 子, 三 浦 陽 子, 有 倉 巳 幸²⁾ (¹⁾鹿 児 島 医 療 セ ン タ ー 付 属 鹿 児 島 看 護 学 校 非 常 勤, ²⁾鹿 児 島 大 学 教 育 学 部 心 理 学 科) : 高 校 生 の 男 女 交 際 に お け る 意 識 と デ ー ト DV 被 害 ・ 加 害 と の 関 連 第 1 報—男 女 交 際 に お け る 意 識 の 性 差 一. 第 50 回 日 本 母 性 衛 生 学 会, 2009. 9. 28
43. 三 浦 陽 子, 下 敷 領 須 美 子, 新 名 主 雪 絵¹⁾, 有 倉 巳 幸²⁾ (¹⁾鹿 児 島 医 療 セ ン タ ー 付 属 鹿 児 島 看 護 学 校 非 常 勤, ²⁾鹿 児 島 大 学 教 育 学 部 心 理 学 科) : 高 校 生 の 男 女 交 際 に お け る 意 識 と デ ー ト DV 被 害 ・ 加 害 と の 関 連 第 2 報—リ ス ク 項 目 と 被 害 ・ 加 害 体 験 の 関 連 一. 第 50 回 日 本 母 性 衛 生 学 会, 2009. 9. 28
44. 下 敷 領 須 美 子, 新 名 主 雪 絵¹⁾, 三 浦 陽 子, 有 倉 巳 幸²⁾ (¹⁾鹿 児 島 医 療 セ ン タ ー 付 属 鹿 児 島 看 護 学 校 非 常 勤, ²⁾鹿 児 島 大 学 教 育 学 部 心 理 学 科) : 高 校 生 の 男 女 交 際 に お け る 意 識 と デ ー ト DV 被 害 ・ 加 害 と の 関 連 第 3 報—被 害 ・ 加 害 並 び に 暴 力 間 の 相 関 関 係 一. 第 50 回 日 本 母 性 衛 生 学 会, 2009. 9. 28
45. 井 上 尚 美, 石 走 知 子, 三 浦 陽 子, 若 松 美 貴 代, 下 敷 領 須 美 子, 吉 留 厚 子 : 思 春 期 ・ 青 年 期 学 生 の 性 の 問 題 に 関 す る 受 診 行 動 に 関 す る 研 究—診 療 科 選 択, 病 院 へ の 希 望, お よ び 病 院 受 診 イ メ ー ジ と 対 処 行 動 の 関 連 一. 第 50 回 日 本 母 性 衛 生 学 会, 2009. 9. 28
46. Natsumi Miyazono, Miki Harada, Hisayo Ushinohama¹⁾, Sumiko Shimoshikiryo, Machiyo Ikuta²⁾, Purnamawati³⁾, Sri Snarti Purnawangsih⁴⁾, Sueo Kuwahara⁵⁾, Etsuko Matsuoka⁶⁾ (¹⁾Faculty of Nursing, Yokkaichi Nursing and Medical Care University, ²⁾School of Health Sciences, Faculty of Medicine, Kumamoto University, ³⁾Graduate School of Humanistic-Sociological Sciences, Kagoshima University, ⁴⁾Research Center for Population, Indonesian Institute of Sciences, ⁵⁾Faculty of Law, Economics and Humanities, Kagoshima University, ⁶⁾Faculty of Human Life and Environment, Nara Women University): Research on sex behavior in Indonesia Case Study of Pontianak City in West Kalimantan State. The 7th International Nursing Conference, KOFST, Seoul, Korea, October 29-30, 2009
47. Machiyo Ikuta¹⁾, Natsumi Miyazono, Hisayo Ushinohama²⁾, Sumiko Shimoshikiryo, Purnamawati³⁾, Sri Snarti Purnawangsih⁴⁾, Sueo Kuwahara⁵⁾, Etsuko Matsuoka⁶⁾ (¹⁾School of Health Sciences, Faculty of Medicine, Kumamoto University, ²⁾Faculty of Nursing, Yokkaichi Nursing and Medical Care University, ³⁾Graduate School of Humanistic-Sociological Sciences, Kagoshima University, ⁴⁾Research Center for Population, Indonesian Institute of Sciences, ⁵⁾Faculty of Law, Economics and Humanities, Kagoshima University, ⁶⁾Faculty of Human Life and Environment, Nara Women University): A Study of Dietary Habits among the Women of Perinatal Period and Infants in West Kalimantan, Indonesia. The 7th International Nursing Conference, KOFST, Seoul, Korea, October 29-30, 2009
48. Hisayo Ushinohama¹⁾, Natsumi Miyazono, Sumiko Shimoshikiryo, Machiyo Ikuta²⁾ (¹⁾Faculty of Nursing, Yokkaichi Nursing and Medical Care University, ²⁾School of Health Sciences, Faculty of Medicine, Kumamoto University): The Perception of Perinatal Care-Givers Among Women in West-Kalimantan in Indonesia. The 7th International Nursing Conference, KOFST, Seoul, Korea, October 29-30, 2009
49. 山 下 早 苗 : 小 児 が ん の 子 ども を も つ 家 族 の 関 係. 第 15 回 九 州 山 口 血 液 ・ 腫 瘍 研 究 会, 鹿 児 島 市, 2009. 5. 23
50. 山 下 早 苗 : 小 児 看 護 学 実 習 で の 倫 理 教 育 事 例. 日 本 看 護 倫 理 学 会 第 2 回 年 次 大 会, 佐 久 市, 2009. 6. 6

業績目録

51. Sanae Yamashita: Maternal and Child Health in Kagoshima Prefecture, Japan (Second Report) – Pediatric Emergency Medicine Telephone Consultation by Nurses –. The 7th International Nursing Conference, Seoul, Korea, October 29, 2009.
52. 山下早苗:「鹿児島県小児救急電話相談事業（#8000）」実態 –2008年度の現状–. 第14回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会, 宮崎市, 2009.11.7

D. その他

1) 論文・報告書

1. 井上尚美, 石走知子, 三浦陽子, 若松美貴代, 他2名: 思春期・青年期学生の性の問題に関する受診行動に関する研究—診療科選択, 病院への希望, および病院受診イメージと対処行動の関連—. 日本助産学会学術集録, 2009; 22(3): 467
2. 加藤忠明, 安藤亜紀, 福田清香, 藤本純一郎, 別所文雄, 内山聖, 荒川浩一, 柳川幸重, 藤枝憲二, 伊藤善也, 武井修治, 杉原茂孝, 伊藤道徳, 小池健一, 有賀正, 飯沼一字, 松井陽, 原田正平, 西牧謙吾, 斉藤進, 掛江直子, 坂本なほ子, 顧艶紅, 佐藤ゆき, 竹原健二: 平成18年度小児慢性特定疾患治療研究事業の全国登録状況. 法制化後の小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究. 平成20年度総括・分担研究報告書, p11-38, 2009
3. 武井修治, 今中啓之, 山下早苗: 難治性若年性特発性関節炎 JIA に対する抗サイトカイン療法導入の現状と問題点. 平成18年度小児慢性特定疾患治療研究事業の全国登録状況. 法制化後の小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究. 平成20年度総括・分担研究報告書, p123-129, 2009
4. 武井修治: 子どものリウマチー若年性特発性関節炎のお子さんをもつご家族のために. (監修 武井修治), 2009.
5. 武井修治: 小児リウマチ診療の現在ー若年性特発性関節炎(JIA)を知るー. ワイス株式会社, 2009
6. 下敷領須美子: 女性の人権 聞かせて話して人権のこと. 鹿児島県人権同和対策課, p3-4, 2009.3
7. 下敷領須美子: “ピア”は仲間! セクシュアリティについて学び合うピア活動と性の健康教育. 平成20年度鹿児島大学の社会貢献活動, p21, 2009.4
8. 吉留厚子: The 19th WAS World Congress for Sexual Health に参加して. 鹿児島市医報, 第48巻8号: 28-30, 2009.7
9. 吉留厚子: 学生と共に生命の誕生をみつめて. エンブリオかごしま第2回いのちの講演会・命の輝きを, p3, 2009.8
10. 吉留厚子: 助産師教育「The Swedish Youth Clinic を訪問して」. 全国助産師教育協議会ニューズレター, p3, 2009.8
11. 白水美保, 山下早苗, 武井修治: 地域別にみた保護者の子どもへの口腔ケア(歯みがき)に関する意識を実態調査. 平成21年度かごしま口腔協会会報2009; 27: 29-33

2) 講演

1. 武井修治: JIA の病態とサイトカイン遮断療法. 北陸地区 JIA 研修会, 金沢市, 2009.2.14
2. 武井修治: 難治性 JIA に対する生物学的製剤の適応と選択, 問題点. 第14回香川・岡山小児感染免疫懇話会, 高松市, 2009.2.22
3. 武井修治: 難治性 JIA に対するサイトカイン遮断療法—その光と影—. 第12回中国地区 小児免疫薬物療法研究会, 広島市, 2009.3.14
4. 武井修治: 膠原病を抱える子どもたちの思春期. 第4回思春期医学臨床講習会, 福岡市, 2009.5.16
5. 武井修治: 児童虐待. かごしまルネッサンスアカデミー, 鹿児島市, 2009.6.13
6. 武井修治: エタネルセプトの有効性と安全性. オンラインエタネルセプト研修会, 全国会場, 2009.8.17
7. 武井修治: 小児リウマチ性疾患の診断と治療. 日本リウマチ学会全国中央研修会, 東京都, 2009.8.23
8. 武井修治: これからの小児リウマチ医療. あすなる会サマーキャンプ, 千葉県舞浜, 2009.8.24
9. 武井修治: いかにして小児リウマチ疾患の診断にたどりつくか. 久留米大学小児科グランドカンファレンス, 久留米市, 2009.9.4
10. 武井修治: 小児リウマチ性疾患の診断, 治療. 第12回日本整形外科学会認定リウマチ医研修会, 東京都, 2009.11.15
11. 武井修治: 小児の事故と対策. 平成21年度鹿児島県母子保健関係者研修会, 鹿児島市, 2009.11.17
12. 武井修治: 小児リウマチ診療のコツと注意点~成人との異同を含めて. 第16回久留米リウマチ膠原病研究会, 久留米市, 2009.11.24
13. 武井修治: 難治性 JIA に対するサイトカイン遮断療法—成長や骨代謝への影響も含めて—. 第27回小児代謝性骨疾患研究会, 東京都, 2009.12.5
14. 武井修治: 小児リウマチ性疾患の診断と治療. 日本リウマチ学会全国中央研修会, 大阪市, 2009.12.13

業 績 目 録

15. 吉留厚子：看護研究研修“いきいきと研究に取り組むために～研究の視点～”。鹿児島大学医学部附属病院，2009.6.30
16. 吉留厚子：「生徒の性行動と性まつわる課題」。教員免許状更新講習，鹿児島大学医学部保健学科研究棟，2009.7.25
17. 吉留厚子：“看護研究の基礎”。看護研究研修，県立大島病院，2009.7.28
18. 吉留厚子：「男らしさ・女らしさ」。出前講座，鹿児島県立南種子高等学校，2009.8.24
19. 吉留厚子：平成21年度認定看護管理者制度 ファーストレベル教育課程 看護管理概説。鹿児島県看護協会，2009.8.31，9.2
20. 吉留厚子：「看護研究の基礎及びデータ解析入門」。公開講座。鹿児島大学医学部保健学科研究棟，2009.10.24
21. 吉留厚子：学生と共に生命の誕生をみつめて。エンブリオ鹿児島，鹿児島サンエール，2009.12.5
22. 下敷領須美子：医療機関におけるDV被害者支援の役割。平成20年度職場・学校等における男女共同参画お届けセミナー，鹿児島県立大島病院，奄美市，2009.2.2
23. 下敷領須美子：互いを尊重し合うパートナーシップ。職場・学校等における男女共同参画お届けセミナー，鹿児島県立古仁屋高等学校，瀬戸内町，2009.2.2
24. 下敷領須美子：互いを尊重し合うパートナーシップ。鹿児島中央高校平成20年度性教育講演会，鹿児島市，2009.2.4
25. 下敷領須美子：デートDVについて。平成20年度職場学校等における男女共同参画お届けセミナー，鹿児島県立鶴翔高等学校，阿久根市，2009.2.10
26. 下敷領須美子：大切にしよう心と身体ー互いを尊重し合える関係ー。波野中学校性教育講演会，肝属町，2009.2.17
27. 下敷領須美子：親もともに学ぶ性教育。平成21年度指宿市性教育講演会，南指宿中学校，2009.2.19
28. 下敷領須美子・ピアカウンセラー：ピア・エデュケーション，①薬物・喫煙から身を守る ②望まない妊娠を防ぐ ③性感染症を防ぐ。尚志館高等学校2年生，211名対象，2009.3.6
29. 下敷領須美子：生命誕生の不思議。出前授業，宮崎県立小林高等学校，宮崎県小林市，2009.6.20
30. 下敷領須美子：助産師の行う「性教育」の意義。平成21年度助産師が行う性教育指導者研修会，鹿児島市，2009.6.20
31. 下敷領須美子：お互いを尊重し合うパートナーシップを育てよう。平成21年度男女共同参画週間お届けセミナー，鹿児島県立鹿児島聾学校，鹿児島市，2009.7.22
32. 下敷領須美子：思春期のこころとからだを育むー携帯電話をめぐる性の問題ー。坂本台健康大学講演会，鹿児島市，2009.8.22
33. 下敷領須美子・井上尚美：対等なパートナーシップを育む。教員免許状更新講習，鹿児島大学医学部保健学科教育棟，2009.8.24
34. 下敷領須美子：若年層の暴力被害とその対応。配偶者からの暴力被害者支援アドバイザー事業，霧島市，2009.8.26
35. 下敷領須美子・井上尚美：子どもと学び会う「生と性」。教員免許状更新講習，鹿児島大学医学部保健学科教育棟，2009.8.27
36. 下敷領須美子・ピアカウンセラー：志布志市ピアカウンセリング。志布志市在住高校生9名対象，2009.8.28-29
37. 下敷領須美子・ピアカウンセラー：ピアエデュケーション，①望まない妊娠を防ぐ ②デートDV ③性感染症を防ぐ。中種子町ピアエデュケーション事業，鹿児島県立種子島中央高等学校2年生4クラス160名対象，2009.9.16
38. 下敷領須美子：互いを尊重し合うパートナーシップ。平成21年度男女共同参画週間お届けセミナー，鹿児島県立霧島高等学校，霧島市，2009.9.30
39. 下敷領須美子：男女共同参画社会の実現について。平成21年度男女共同参画週間お届けセミナー，鹿児島県立種子島高等学校，西之表市，2009.10.5
40. 下敷領須美子：つながりのある性教育をめざしてー子どもたちに生きる力をつたえるためにー。川薩保健所 思春期の健康づくりに関する研修会，薩摩川内市，2009.10.15
41. 下敷領須美子：DV被害者支援ーDVをどう理解し支援につなげられるかー。鹿児島市平成21年度第3回DV（ドメスティック・バイオレンス）防止庁内連絡会議，鹿児島市，2009.11.5
42. 下敷領須美子：互いを尊重し合うパートナーシップーデートDVの被害者・加害者にならないためにー。鹿児島県立伊集院高等学校，日置市，2009.11.12
43. 下敷領須美子：DVってなに？被害実態をふまえて，鹿児島県平成21年度女性に対する暴力の問題に関する意識啓発事業，鹿児島県民交流センター，鹿児島市，2009.11.14
44. 下敷領須美子：互いを尊重し合うパートナーシップーデートDVって知ってる？ー。鹿児島県立国分高等学校，霧島市，2009.12.7
45. 下敷領須美子：デートDVって知ってる？ー傷つかない・傷つけないためにー。平成21年度男女共同参画週間お届けセミナー，

業 績 目 録

- 鹿児島県立開陽高等学校（定時制生徒・教職員），鹿児島市，2009.12.9
46. 下敷領須美子・ピアカウンセラー：ピアエデュケーション，①よりよいパートナーシップを築こう ②知つとこ！お互いを大切にするためにデートDV，望まない妊娠を防ごうー ③大切な私大切なあなたの未来のためにー性感染症を防ごうー。鹿児島県立串木野高等学校1・2・3年生6クラス185名対象，2009.12.10
 47. 下敷領須美子：デートDVについてー互いを尊重し合うパートナーシップー。平成21年度男女共同参画週間お届けセミナー，鹿児島県立大島工業高等学校，奄美市，2009.12.17
 48. 山下早苗：家庭における乳幼児の健康管理。めぐみ保育園，鹿児島市，2009.2.14
 49. 山下早苗：少子化と地域子育ての諸問題ー小児救急医療ー。鹿児島大学かごしまルネッサンスアカデミー，鹿児島大学，2009.6.13
 50. 山下早苗：小児保健。平成21年度保育士試験準備講習会，鹿児島市，2009.6.28
 51. 山下早苗：小児看護「いざという時の家庭看護」。出張講義，熊本県八代南高校，2009.7.7
 52. 山下早苗：小児看護「いざという時の家庭看護」。出張講義，沖永良部高校，2009.8.24
 53. 八代利香，山下早苗：子ども及び教職員の健康問題。教員免許状更新講習，鹿児島大学桜ヶ丘キャンパス（鹿児島市）桜ヶ丘共通教育棟，2009.8.28
 54. 山下早苗：調査研究，看護研究の基礎及びデータ解析入門。平成21年度鹿児島大学医学部保健学科公開講座，鹿児島大学医学部保健学科（桜ヶ丘キャンパス），2009.10.24
 55. 山下早苗：乳幼児の健康管理。鹿屋市保育会研修会，鹿屋市，2009.12.2
 56. 白水美保：新生児蘇生法について。境田医院看護研修会，2009.3
 57. 白水美保：早産とその看護。境田医院看護研修会，2009.5
 58. 白水美保：参加型マザークラスと保健指導。境田医院看護研修会，2009.8
 59. 白水美保：緊急母体搬送について。境田医院看護研修会，2009.9

3) 報 道

1. 武井修治：ほめて励まして前向きな育児をー南日本子どもセミナー。南日本新聞2009.9.18
2. 下敷領須美：『ねちゃんの人権よもやま話』テーマ：『女性の人権』今週のお話，若者の間における暴力の現状と課題について。MBCラジオ2009.3.3/2009.3.7，第49週放送分
3. 下敷領須美子：『ねちゃんの人権よもやま話』テーマ：『女性の人権』今週のお話，若者に対する暴力をなくすために大切なこと。MBCラジオ2009.3.10，2009.3.14，第50週放送分
4. 下敷領須美子：県立霧島高等学校でのデートDV予防講演紹介，鹿児島大学医学部保健学科ピア・びあ・かごしまによる，若者同士のピアカウンセリング・ルーム「びあすてーしょん」活動の紹介。2009.9.30，NHKニュース，18時10分，20時45分
5. 下敷領須美子：鹿児島2例目裁判員裁判 妻傷害致死に執行猶予判決に対し「DVの背景考え教訓に」専門家指摘 取材記事，南日本新聞，2009.12.10
6. 下敷領須美子：鹿児島県裁判員裁判 強姦傷害事件の裁判員裁判を傍聴しての取材放映2009.12.16，NHKニュース，18時10分，20時45分
7. 下敷領須美子：鹿児島県裁判員裁判 強姦傷害事件の裁判員裁判の判決について 取材放映 NHKニュース2009.12.17，NHKニュース，18時10分，20時45分
8. 下敷領須美子：「対等なパートナーシップを 工業高でデートDVセミナー」取材記事，南海日日新聞，2009.12.19
9. 下敷領須美子：県立大島工業高 デートDV予防講演 取材記事，奄美新聞，2009.12.19

〔地域看護・看護情報学講座〕

B. 論文

- 橋口照人¹⁾, 前之園隆一¹⁾, 大野佳子, 川原幸一¹⁾, 斉藤和人²⁾, 丸山征郎³⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科, ²⁾鹿屋体育大学): 「NO 抵抗性」の概念. 臨床病理2009; 57: 144
- Kikuchi K¹⁾, Kawahara K¹⁾, Biswas KK¹⁾, Ito T¹⁾, Tancharoen S¹⁾, Morimoto Y¹⁾, Matsuda F, Oyama Y¹⁾, Takenouchi K¹⁾, Miura N¹⁾, Arimura N¹⁾, Nawa Y¹⁾, Meng X¹⁾, Shrestha B¹⁾, Arimura S¹⁾, Iwata M¹⁾, Mera K¹⁾, Sameshima H¹⁾, Ohno Y, Maenosono R¹⁾, Yoshida Y, Tajima Y¹⁾, Uchikado H¹⁾, Kuramoto T¹⁾, Nakayama K¹⁾ (¹⁾Vascular Medicine, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences): Minocycline attenuates both OGD-induced HMGB1 release and HMGB1-induced cell death in ischemic neuronal injury in PC12 cells. *Biochem Biophys Res Commun* 2009; 385 (2): 132-136
- Kikuchi K¹⁾, Tancharoen S¹⁾, Matsuda F, Biswas KK¹⁾, Ito T¹⁾, Morimoto Y¹⁾, Oyama Y¹⁾, Takenouchi K¹⁾, Miura N¹⁾, Arimura N¹⁾, Nawa Y¹⁾, Meng X¹⁾, Shrestha B¹⁾, Arimura S¹⁾, Iwata M¹⁾, Mera K¹⁾, Sameshima H¹⁾, Ohno Y, Maenosono R¹⁾, Tajima Y¹⁾, Uchikado H¹⁾, Kuramoto T¹⁾, Nakayama K¹⁾, Shigemori M¹⁾, Yoshida Y, Hashiguchi T¹⁾, Maruyama I¹⁾, Kawahara K¹⁾ (¹⁾Department of Laboratory and Vascular Medicine, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences): Edaravone attenuates cerebral ischemic injury by suppressing aquaporin-4. *Biochem. Biophys Res Commun* 2009; 390 (4): 1121-1125
- 前田愛¹⁾, 宮菫夏美, 大野佳子, 池田絵美²⁾ (¹⁾鹿屋市保健相談センター, ²⁾元医療人社団高邦会高木病院): 母親の育児不安要因の検討 対人関係とソーシャルサポートに焦点をあてて. 鹿児島大学紀要2009; 19: 11-18
- 水上惟文, 志礼田千絵, 遠矢妃呂美, 真形早織, 森田麻衣, 内和田龍児, 浅川真伍, 高野吉輝: 亜鉛欠乏がウィスター・ラットに及ぼす影響. 九州実験動物雑誌2009; 25: 67-71
- 大野佳子, 宇都由美子¹⁾, 長岡良治²⁾ (¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科, ²⁾鹿児島大学教育学部). 地域において運動習慣を実行する者の特性と促進要因の検証. 鹿児島大学医学部保健学科紀要, 2009; 19: 19-26
- Yoshiko Ohno, Teruto Hashiguchi¹⁾, Ryuichi Maenosono¹⁾, Hidetoshi Yamashita²⁾, Yukio Taira²⁾, Kazufumi Minowa²⁾, Yoshihito Yamashita²⁾, Yuko Kato²⁾, Ko-ichi Kawahara¹⁾, Ikuro Maruyama¹⁾ (¹⁾Department of Laboratory and Vascular Medicine, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, ²⁾Kagoshima Seikyo General Hospital): The diagnostic value of endothelial function as a potential sensor of fatigue in health. *Vascular Health and Risk Management* 2009 (Epub ahead of print)
- Y Takano, K Minakami, S Kodama, T Matsuo¹⁾ and I Satozono²⁾ (¹⁾徳洲会加計呂麻診療所, ²⁾龍郷町役場保健福祉課): Cross infection of *Strongyloides* between humans and dogs in the Amami Islands, Japan. *Tropical Medicine and Health* 2009; 37 (4): 149-152
- 友岡愛¹⁾, 大野佳子, 池ノ上由貴²⁾, 森友里恵³⁾, 石野友希⁴⁾, 加藤裕子⁵⁾ (¹⁾蒲生町保健センター, ²⁾財団法人慈愛会今村病院, ³⁾生協戸塚病院, ⁴⁾鹿児島県保健所, ⁵⁾鹿児島市教育委員会): 日本におけるピアカウンセリングが高校生の性の自己決定に及ぼす影響に関する文献研究. 鹿児島大学医学部保健学科紀要2009; 19: 41-48
- 大野佳子, 榎原りり子¹⁾, 浜崎真美¹⁾, 庵木清子¹⁾, 日谷希和¹⁾, 今村佳代子²⁾, 橋口照人³⁾, 丸山征郎³⁾ (¹⁾鹿児島女子短期大学, ²⁾鹿児島純心女子大学, ³⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 介護福祉学生に対する職務継続のための健康教育の評価. 日本予防医学会雑誌, (掲載予定).

C. 学会発表

- 内和田龍児, 森田麻衣, 浅川真伍, 遠矢妃呂美, 真形早織, 高野吉輝, 水上惟文, 松尾敏明¹⁾, 重田育乃²⁾ (¹⁾徳洲会加計呂麻診療所, ²⁾龍郷町役場保健福祉課): 奄美諸島におけるヒト・イヌ糞線虫症の疫学的研究. 第62回日本寄生虫学会南日本支部大会, 福岡市, 2009. 11
- 榎原りり子¹⁾, 浜崎真美¹⁾, 庵木清子¹⁾, 日谷希和¹⁾, 大野佳子 (¹⁾鹿児島女子短期大学生生活福祉専攻): 介護福祉学生に対する健康状態と意識の評価. 第17回日本介護福祉学会大会, 2009. 9. 13
- 大野佳子, 石野友希¹⁾, 池ノ上由貴²⁾, 森友里恵³⁾, 友岡 愛⁴⁾, 加藤裕子⁵⁾ (¹⁾鹿児島県保健所, ²⁾財団法人慈愛会今村病院, ³⁾生協戸塚病院, ⁴⁾蒲生町保健センター, ⁵⁾鹿児島市教育委員会): 児童虐待の一次予防・二次予防に関する文献的考察—世代間伝達とソーシャルサポートに焦点をあてて—. 第12回日本地域看護学会総会, 2009.
- 大野佳子, 川邊智子, 財部マチ子¹⁾, 増永智美²⁾, 向江美喜³⁾, 坂元恵子¹⁾, 永山充代⁴⁾, 小原智代子⁴⁾ (¹⁾鹿児島市保健所, ²⁾指宿市保健センター, ³⁾加治木町保健センター, ⁴⁾鹿児島県保健所): 行政評価の視点からみた保健事業の評価方法について. 第68回日本公衆衛生学会総会, 2009. 10. 23
- 真形早織, 遠矢妃呂美, 内和田龍児, 森田麻衣, 浅川真伍, 高野吉輝, 水上惟文, 久保田美穂: ハブ毒による筋細胞死の機

業績目録

- 序. 第59回日本衛生動物学会南日本支部大会, 福岡市, 2009.11.
6. 村上江利子, 森隆子, 児玉慎平, 波多野浩道: 身体活動の行動変容を意図した小学生用パンフレット介入の効果. 日本地域看護学会第12回学術集会, 千葉市, 2009.8.8
 7. 須永恭子, 田村須賀子, 春山早苗, 鈴木久美子, 波多野浩道, 児玉慎平: 山間へき地診療所における終末期及び看取り時在宅対応での医師と看護師との役割分担と連携. 第68回日本公衆衛生学会総会抄録集, 日本公衆衛生雑誌56巻, 第10号特別号, 576, 奈良市, 2009.10.21-23
 8. 田村須賀子, 須永恭子, 春山早苗, 鈴木久美子, 波多野浩道, 児玉慎平: 山間へき地診療所における医師と看護師との役割分担と連携. 第68回日本公衆衛生学会総会抄録集, 日本公衆衛生雑誌56巻, 第10号特別号, 576, 奈良市, 2009.10.21-23

D. その他

1) 論文・報告書

1. 波多野浩道, 児玉慎平: 医療過疎地域領域の役割分担・連携. 平成20年度厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業医師と看護師との役割分担と連携の推進に関する研究. 総括研究報告書 (主任研究者 太田喜久子), 202-246, 2009.3
2. 水上惟文, 川畑秀明* (*鹿児島大学教育学部): 「授業評価アンケート」の実施状況と結果分析, 鹿児島大学教育センター年報, 第5号, 57-64, 2009.9
3. 大野佳子: 大学教育に同窓会員の胸を借りた成果についてのご報告ー第2報ー. しおさい24号: 3-4, 2009

2) 講演

1. 児玉慎平: 研究の進め方・論文のまとめ方・発表に向けて. 国立療養所星塚敬愛園看護部研修, 鹿屋市, 2009.6.9, 11.10, 12.11
2. 児玉慎平: 情報テクノロジー (情報検索). 鹿児島県看護協会 認定看護管理者制度セカンドレベル講習, 鹿児島市, 2009.10.6
3. 水上惟文: 最後の寄生虫病: 奄美の糞線虫症. 大学憲章に基づくプロジェクト事業 (社8会貢献) 2008年度地域と大学のローカルシンフォニー in 与論, 講座, 与論町, 2009.1.31
4. 水上惟文: 奄美におけるハブの生活史. 鹿児島大学保健・医療研究会第3回合同研究発表会, 特別講演, 鹿児島市, 2009.8.30
5. 大野佳子: 成功事例から特定保健指導を考える. 鹿児島産保健推進センター主催研修会, 鹿児島市, 2009.1.26
6. 大野佳子: それは正しい健康情報ですか. 鹿児島産保健推進センター主催研修会, 鹿児島市, 2009.3.9
7. 大野佳子: 鹿児島の健康と長寿概論. 鹿児島大学ルネッサンスアカデミー主催講師, 鹿児島市, 2009.6.20
8. 大野佳子: 保健行動への自己決定を支援するーリラクゼーションと行動変容ー. 鹿児島産保健推進センター主催研修会, 鹿児島市, 2009.10.26
9. 大野佳子: 児童生徒が問題行動にいたる背景と他職種との連携. 平成21年度鹿児島大学教員免許状更新講習, 鹿児島市, 2009.12.5

〔理学療法学専攻〕

A. 著書

1. 榑間春利：障害学的特徴からみた理学療法（介入）の実際，パーキンソン病の場合．実践 MOOK 理学療法プラクティス神経難病，知識と技術の統合に向けて（嶋田智明，大峰三郎，吉元洋一編），文光堂，東京，2009.9，p120-128
2. 前田哲男：筋力一下肢．図解理学療法検査・測定ガイド（第2版），文光堂，東京，2009.11.24，p217-232
3. 吉田義弘：医師の立場から．実践 MOOK 理学療法プラクティス神経難病，知識と技術の統合に向けて（嶋田智明，大峰三郎，吉元洋一編），文光堂，東京，2009，p164-167
4. 吉田義弘：神経難病治療の進歩．実践 MOOK 理学療法プラクティス神経難病，知識と技術の統合に向けて（嶋田智明，大峰三郎，吉元洋一編），文光堂，東京，2009，p171
5. 吉田義弘：神経難病の薬物療法の進歩．実践 MOOK 理学療法プラクティス神経難病，知識と技術の統合に向けて（嶋田智明，大峰三郎，吉元洋一編），文光堂，東京，2009，p172
6. 吉元洋一（ゲスト編集）：実践 MOOK 理学療法プラクティス神経難病，知識と技術の統合に向けて．文光堂，東京，2009.9.28
7. 吉元洋一：1. 脳血管障害．中枢神経疾患の理学療法2版（山元総勝編），新陵文庫，2009.9.28，p5-9
8. 吉元洋一：2. 急性期の理学療法．中枢神経疾患の理学療法第2版（山元総勝編），新陵文庫，2009.9.28，p9-31
9. 米 和徳，小宮節郎：脊椎脊髄疾患，頸椎症・頸部神経根症・脊髄損傷，脊髄腫瘍．図解整形外科問題集（金谷文則，久保俊一編著），金芳堂，2009.3.20，p174，175，179，182，186，p224-230
10. 米 和徳，小宮節郎：合併症 85脊椎手術における神経合併症，86硬膜損傷，87脊椎手術における血管合併症．The spine 脊椎・脊髄外科（原著5版）XIV編（小宮節郎総監訳），金芳堂，p1441-1485

B. 論文

1. 國生満，大重匡，田中信行：L-Arginine 経口摂取による前腕浴時の足趾表在温上昇への効果．日本温泉気候物理医学会雑誌 2009；72：201-206
2. Sakakima H, Hagihara K, Mariko Y, Matsuda F, Yoshida Y: The effects of short duration static stretching on acute atrophied soleus muscle morphology after complete spinal cord injury in the rat. Bull Sch Health Sci Kagoshima Univ 2009; 19: 33-40
3. Nagayoshi R, Ijiri K, Takenouchi T, Taketomi E, Sakakima H, Komiya S: Evaluation of occipitocervical subluxation in rheumatoid arthritis patients, using coronal-view reconstructive computed tomography. Spine 2009; 34: E879-E881
4. Kikuchi K, Kawahara K, Tancharoen S, Matsuda F, Morimoto Y, Ito T, Biswas KK, Takenouchi K, Miura N, Oyama Y, Nawa Y, Arimura N, Iwata M, Tajima Y, Kuramoto T, Nakayama K, Shigemori M, Yoshida Y, Hashiguchi T, Maruyama I: The free radical scavenger edaravone rescues rats from cerebral infarction by attenuating the release of high-mobility group box-1 in neuronal cells. J Pharmacol Exp Ther 2009 Jun; 329(3): 865-74. Epub 2009 Mar 17.
5. Kikuchi K, Kawahara K, Biswas KK, Ito T, Tancharoen S, Morimoto Y, Matsuda F, Oyama Y, Takenouchi K, Miura N, Arimura N, Nawa Y, Meng X, Shrestha B, Arimura S, Iwata M, Mera K, Sameshima H, Ohno Y, Maenosono R, Yoshida Y, Tajima Y, Uchikado H, Kuramoto T, Nakayama K, Shigemori M, Hashiguchi T, Maruyama I: Minocycline attenuates both OGD-induced HMGB1 release and HMGB1-induced cell death in ischemic neuronal injury in PC12 cells. Biochem Biophys Res Commun 2009 Jul 24; 385(2): 132-6. Epub 2009 Apr 18.
6. Kikuchi K, Tancharoen S, Matsuda F, Biswas KK, Ito T, Morimoto Y, Oyama Y, Takenouchi K, Miura N, Arimura N, Nawa Y, Meng X, Shrestha B, Arimura S, Iwata M, Mera K, Sameshima H, Ohno Y, Maenosono R, Tajima Y, Uchikado H, Kuramoto T, Nakayama K, Shigemori M, Yoshida Y, Hashiguchi T, Maruyama I, Kawahara KI: Edaravone attenuates cerebral ischemic injury by suppressing aquaporin-4. Biochem Biophys Res Commun 2009 Sep 6. [Epub ahead of print]
7. Sakakima H, Yoshida Y, Yamazaki Y, Matsuda F, Ikutomo M, Ijiri K, Muramatsu H, Muramatsu T, Kadomatsu K: Disruption of the midkine gene (Mdk) delays degeneration and regeneration in injured peripheral nerve. J Neurosci Res 2009 Oct; 87(13): 2908-2015
8. 吉田義弘，榑間春利，松田史代：ミッドカイン 機能解析から臨床応用へ 神経系におけるミッドカインの働き 神経疾患の治療に寄与できるかどうかの検討．医学のあゆみ2009；230(4)：261-265
9. Kikuchi K, Kawahara K, Biswas KK, Ito T, Tancharoen S, Shiomi N, Koda Y, Matsuda F, Morimoto Y, Oyama Y, Takenouchi K, Miura

業 績 目 録

- N, Arimura N, Nawa Y, Arimura S, Jie M, Shrestha B, Iwata M, Mera K, Sameshima H, Ohno Y, Maenosono R, Tajima Y, Uchikado H, Kuramoto T, Nakayama K, Shigemori M, Yoshida Y, Hashiguchi T, Maruyama I. HMGB1: a new marker for estimation of the post-mortem interval. *Exper Ther Med* 2010.1, 109-111
10. 吉元洋一：理学療法士の卒前・卒後教育の課題と展望. 中部リハ雑誌 2008.12.31 ; 3 : 3-7
 11. 吉元洋一：理学療法教育を考える. 理学療法学2009.12.20 ; 36 : 450-453
 12. 米 和徳, 井尻幸成, 山元拓哉, 坂本 光, 河村一郎, 小宮節郎：特集 外傷性頸部症候群—最近の考え方— 外傷性頸部症候群における発生の疫学と最新の統計. 整形・災害外科2009, 2 ; 52(2) : 129-138
 13. Kouhei Yamasaki, Takao Setoguchi, Takeshi Takenouchi, Kazunori Yone, Setsuro Komiya: Stem Cell Factor Prevents Neuronal Cell Apoptosis After Acute Spinal Cord Injury. *Spine* 2009 ; 34(4) : 323-327
 14. 米 和徳：特集 外傷性頸部症候群 外傷性頸部症候群の保存療法・薬物療法. *Monthly Book Orthopaedics* 2009 ; 22(2) : 27-30
 15. 米 和徳, 井尻幸成, 山元拓哉, 善明美千久, 永吉隆作, 小宮節郎：特集 Failed neck surgery 頸椎後縦靭帯骨化症手術成績不良例の検討. 脊椎脊髄ジャーナル2009 ; 22(6) : 739-744
 16. 河村一郎, 井尻幸成, 坂本 光, 砂原伸彦, 武富栄二, 山元拓哉, 米 和徳, 榎間春利, 小宮節郎：RA 患者の後頭頸椎病変に対する生物学的製剤の治療効果—影響を与える因子の検討. 日本脊椎脊髄病学会誌2009 ; 20(1) : 127
 17. 田邊 史, 松田史代, 川畑直也, 瀬戸口啓夫, 小宮節郎, 米 和徳：慢性脊髄圧迫モデル(twy/twy)における autophagy の関与. 日本脊椎脊髄病学会2009 ; 20(1) : 287
 18. 坂本 光, 井尻幸成, 河村一郎, 山元拓哉, 米 和徳, 小宮節郎：CISS 画像による癒着性くも膜炎の評価—硬膜内髄外腫瘍手術例の検討. 日本脊椎脊髄病学会誌 2009 ; 20(1) : 583
 19. 河村一郎, 井尻幸成, 坂本 光, 竹之内剛, 砂原伸彦, 武富栄二, 山元拓哉, 吉玉珠美, 善明美千久, 米 和徳, 小宮節郎：生物学的製剤使用 RA 患者の後頭頸椎病変—2年継続使用例における X 線学的検討—. 日本整形外科学会雑誌2009 ; 83(3) : S364
 20. 坂本 光, 井尻幸成, 河村一郎, 善明美千久, 山元拓哉, 米 和徳, 加治屋より子, 小宮節郎：硬膜内髄外腫瘍の術後調査 CISS 画像の有用性. 日本整形外科学会雑誌2009 ; 83(3) : S539
 21. 米 和徳, 井尻幸成, 山元拓哉, 武富栄二, 砂原伸彦, 松永俊二, 坂本 光, 河村一郎, 善明美千久, 小宮節郎：シンポジウム—RA 手術の実際 RA 頸椎病変に対する手術. 日本整形外科学会雑誌2009 ; 83(3) : S639
 22. Tofuku K, Koga H, Kawabata N, Yone K, Komiya S: L2-L3 flexion-distraction injury treated by posterior fusion using ultra-high molecular weight polyethylene tape in a 7-year-old boy. *Pediatr Neurosurg* 2009; 45(1): 73-7. Epub 2009 Mar 4.
 23. Tofuku K, Koga H, Yone K, Komiya S: Traumatic lumbosacral dislocation treated with posterior lumbar interbody fusion using intersomatic cages. *Case Report Med* 2009: 727041. Epub 2009 Jun 16.
 24. 竹之内剛, 武富栄二, 米 和徳, 小宮節郎：MRI における腰椎椎間関節の信号変化の検討. 西日本脊椎研究会誌2009 ; 35(1) : 76
 25. 永吉隆作, 井尻幸成, 武富栄二, 米 和徳, 山元拓哉, 坂本 光, 竹之内剛, 小宮節郎：CT による冠状断 MPR 像と MRI を道板 RA 上位頸椎病変に対する評価. 西日本脊椎研究会誌2009 ; 35(1) : 90
 26. 山元拓哉, 井尻幸成, 永吉隆作, 米 和徳, 小宮節郎, 辻 太一, 川上紀明：特発性側弯症の胸椎固定術後における腰椎カーブの検討—Lenke 分類を用いた固定範囲選択の有用性について—. 西日本脊椎研究会誌2009 ; 35(1) : 101
 27. 山王朋佳, 井尻幸成, 河村一郎, 善明美千久, 山元拓哉, 米 和徳, 小宮節郎：当科における脊髄硬膜内髄外腫瘍の疫学. 西日本脊椎研究会誌2009 ; 35(2) : 113-116
 28. 河村一郎, 井尻幸成, 坂本 光, 米 和徳, 小宮節郎：硬膜内髄外腫瘍摘出術後の癒着性くも膜炎の評価—CISS 画像を用いて—. 西日本脊椎研究会誌 2009 ; 35(2) : 133-135
 29. 善明美千久, 井尻幸成, 山元拓哉, 坂本 光, 河村一郎, 山王朋佳, 武富栄二, 米 和徳, 小宮節郎：脊髄硬膜内悪性腫瘍の4例. 西日本脊椎研究会誌2009 ; 35(2) : 233-237
 30. 山元拓哉, 井尻幸成, 善明美千久, 坂本 光, 河村一郎, 八尋雄平, 米 和徳, 小宮節郎：進行性麻痺により確定診断前に手術を施行した脊髄腫瘍検討—生検をかねた palliative surgery の異議と問題点—. 整形外科と災害外科2009 ; 58(3) : 415-418
 31. 河村一郎, 井尻幸成, 坂本 光, 永吉隆作, 善明美千久, 山元拓哉, 竹之内剛, 砂原伸彦, 武富栄二, 米 和徳, 小宮節郎：Infliximab・MTX 併用 RA 患者における後頭頸椎病変の経過. 整形外科と災害外科2009 ; 58(3) : 447-450

業績目録

32. 山王朋佳, 竹之内剛, 武富栄二, 恒吉康弘, 砂原伸彦, 古賀公明, 善明美千久, 井尻幸成, 山元拓哉, 米 和徳, 小宮節郎: 骨粗鬆症性椎体骨折後偽関節に対する CT ガイド下椎体形成術の経験. 整形外科と災害外科2009; 58(4): 623-626
33. 田邊 史, 松田史代, 川畑直也, 瀬戸口啓夫, 小宮節郎, 米 和徳: 慢性脊髄圧迫マウスにおける autophagy 関連蛋白ベクリン1の発現. 日本整形外科学会誌2009; 83(8): S1205
34. Hideyuki Kawabata, Takao Setoguchi, Kazunori Yone, Seiro Maruyama, Setsuro Komiya: HMGB1 is upregulated after spinal cord injury and is associated with neuronal cell apoptosis. Spine in press.

C. 学会発表

1. 國生満, 大重匡, 田中信行: L-Arginine 経口摂取による前腕浴時の足趾表在温上昇への効果. 第74回日本温泉気候物理医学会学術集会, つくば市, 2009. 5. 15
2. 大重匡, 高森明久, 田中信行: 人工炭酸泉中の手指屈伸による手浴効果の促進について. 第74回日本温泉気候物理医学会学術集会, つくば市, 2009. 5. 15
3. 大重匡, 高森明久: 市販の炭酸泉入浴剤の保温効果について一部分浴による温熱効果一. 第44回日本理学療法士学術大会, 東京都, 2009. 5. 30
4. 堤恵志郎, 大重匡, 瀬戸口佳史, 大勝祥祐: 運動後回復過程における前傾座位姿勢の呼吸循環への影響. 第44回日本理学療法士学術大会, 東京, 2009. 5. 28
5. 大重匡, 高森明久, 西宏晃, 田中信行: 手浴の温熱効果を向上させる方法について. 第31回九州理学療法士・作業療法士合同学会, 宮崎市, 2009. 11. 15
6. 田中仁史, 上川毅康, 澤和樹, 鈴木大介, 大重匡: 急性心筋梗塞クリニカルパスを導入して一当院の現状と課題一. 第31回九州理学療法士・作業療法士合同学会, 宮崎市, 2009. 11. 14
7. 中井雄貴, 前田哲男, 吉元洋一, 木山良二: 足関節内反位歩行が膝関節内反モーメントに及ぼす影響. 第44回日本理学療法学術大会, 東京都, 2009. 5. 30
8. 伊賀崎央*, 前田哲男, 木山良二 (*久恒病院 リハビリテーション科): 膝関節伸展制限が歩行時の床反力に与える影響. 第44回日本理学療法学術大会, 東京都, 2009. 5. 30
9. 宮崎雅司, 榎間春利, 木山良二, 野島丈史, 松崎敏男, 後藤達志, 吉田義弘: HAM 患者の体幹屈曲伸展における筋出力特性. 第44回日本理学療法学術大会, 東京都, 2009. 5. 30
10. 川田将之, 前田哲男, 木山良二: 車椅子からの立ち上がり時におけるブレイキの有無が床反に与える影響. 第44回日本理学療法学術大会, 東京都, 2009. 5. 30
11. 中島裕貴*, 前田哲男, 木山良二 (*白十字会白十字病院): 背臥位での股関節伸展筋力測定法の妥当性の検討. 第44回日本理学療法学術大会, 東京都, 2009. 5. 30
12. 前原利彦*, 前田哲男, 雲井未欽** (*福田病院, **鹿児島大学 教育学部): 重度心身障害児・者の心拍反応, 第44回日本理学療法学術大会, 東京都, 2009. 5. 30
13. 内村公平*, 山下導人*, 前田哲男, 大渡昭彦 (*南洲整形外科病院): 人工股関節全置換術後の股関節支持機構一重心動揺計を使用した一考察一. 第44回日本理学療法学術大会, 東京都, 2009. 5. 30
14. 後藤達志*, 宮崎雅司, 榎間春利, 木山良二, 生友聖子*, 瀬戸口佳史*, 松崎敏男*, 大勝洋祐*, 吉田義弘 (*大勝病院): HAM における脊柱筋活動量の変化. 第44回日本理学療法学術大会, 東京都, 2009. 5. 29
15. 松尾厚*, 前田哲男, 木山良二 (*早良病院): 車椅子キャスター挙上動作の分析一肩甲帯の動きと床反力の関係. 第44回日本理学療法学術大会, 東京都, 2009. 5. 29
16. 下地涼老*, 木山良二, 瀬戸口佳史*, 大勝洋祐*, 前田哲男 (*大勝病院): 短下肢装具が重心移動距離に与える影響. 第44回日本理学療法学術大会, 東京都, 2009. 5. 29
17. 今西慶行*, 前田哲男, 木山良二 (*おおくまりハビリテーション病院): 片脚ブリッジにおける挙上側の状態と股関節伸展筋の活動一床反力計と筋電計による検討. 第44回日本理学療法学術大会, 東京都, 2009. 5. 28
18. 津江誠*, 野間俊範*, 前園慎也*, 小湊裕一*, 日吉俊紀*, 木山良二, 入江和隆 (*加治木温泉病院): Hart Walker を用いた歩行訓練の効果. 第31回九州理学療法士・作業療法士合同学会, 宮崎, 2009. 11. 14
19. 西智洋, 福留清博, 米和徳, 前田哲男, 川井田豊, 松下寿史: デジタル描画による加齢が上肢機能に与える影響の検討. 第31回九州理学療法士・作業療法士合同学会, 宮崎市, 2009. 11. 14
20. 川井田豊, 福留清博, 西智洋, 松下寿史, 上嶋明: バランス Wii ボードを用いた静止立位時の全足圧動揺計測の試み. 第31

業 績 目 録

- 回九州理学療法士・作業療法士合同学会，宮崎市，2009.11.14-15
21. 松下寿史，福留清博，西智洋，川井田豊：予告反応時間課題を用いた敏捷性評価プログラムの開発．第31回九州理学療法士・作業療法士合同学会，宮崎市，2009.11.14-15
 22. 西智洋，福留清博，米和徳，川井田豊，松下寿史，上肢運動機能の定量的評価システムの実現を目指して－I.直線と正弦波形描画課題に対する若年者と高齢者間の比較－．第44回日本理学療法学会大会，東京都，2009.5.28-30
 23. 川井田豊，福留清博，上嶋明，西智洋，松下寿史：バランス Wii ボードの重心動揺計としての利用．第44回日本理学療法学会大会，東京都，2009.5.28-30
 24. 川上剛，前田哲男，福留清博：脳卒中片麻痺者における非麻痺側上肢協調性－時間調整能力について－．第44回日本理学療法学会大会，東京都，2009.5.28-30
 25. Shimada H, Sakakima H, Matsuda F, Komiya S, Tsuchimochi K, Goldring MB, Ijiri K: GADD45b and C/EBPb distribution in articular cartilage of senescence-accelerated mice. 55th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society (ORS), LasVegas, 2009.2.25
 26. 本武千典，榑間春利，宮崎雅司，長ヶ原真奈美，諏訪健司，徳田清一，釜賀大将，川村英俊，林協司，中川雅裕，井尻幸成，米和徳：MRI 画像による腰部脊柱管狭窄症患者の腰部多裂筋の評価．第44回日本理学療法学会大会，東京，2009.5.29
 27. 榑間春利，宮崎雅司，本武千典，長ヶ原真奈美，小宮節郎，井尻幸成，米和徳：腰部脊柱管狭窄症患者の術式の違いによる術前・術後の腰部多裂筋の変化．第44回日本理学療法学会大会，東京，2009.5.29
 28. 松田史代，入江愛，榑間春利，生友聖子，米和徳，吉田義弘：脳梗塞ラットにおける早期運動療法介入が脳梗塞巣周辺へ及ぼす効果．日本理学療法学会大会，東京，2009.5
 29. 榑間春利，松田史代，生友聖子，入江愛，嶋田博文，吉田義弘，米和徳，井尻幸成：トレッドミル運動が加齢マウスの関節軟骨に与える影響．日本理学療法学会大会，東京，2009.5
 30. 木下香菜，松田史代，榑間春利，入江愛，生友聖子，田邊史，吉田義弘，米和徳：脊髄圧迫による麻痺出現時期の差による筋の観察．日本理学療法学会大会，東京，2009.5
 31. 生友聖子，松田史代，榑間春利，入江愛，宮崎雅司，後藤達志，吉田義弘：ヒト筋衛星細胞の分化過程における成長因子 Midkine の発現動態．日本理学療法学会大会，東京，2009.5
 32. 釜賀大将，榑間春利，宮崎雅司，徳田清一，本武千典，諏訪健司，上原聖子，林協司，中川雅裕，川村英俊，米和徳：在宅復帰した股関節術後患者の歩行能力と股関節外転筋力・片脚立位・疼痛との関係．第31回九州理学療法士・作業療法士合同学会，宮崎市，2009.11.14
 33. 菊池清志，川原幸一，Salunya Tancharoen, 松田史代，伊藤隆史，Biswas Kamal K, 竹之内和則，大山陽子，名和由布子，三浦直樹，有村昇，孟曉潔，Binita Shrestha, 田島裕，倉本晃一，中山顕児，重森稔，吉田義弘，橋口照人，丸山征郎：新規脳梗塞のマーカー；HMGB1. 日本臨床検査医学学会，北海道，2009.8
 34. Fumiyo Matsuda, Harutoshi Sakakima, MASAKO IKUTMO, Yoshihiro Yoshida: The effects of early exercise on brain damage and recovery after focal cerebral infarction in rats. 第32回日本神経科学学会大会，名古屋，2009.9
 35. Sakakima H, Yoshida Y, Yamazaki Y, Matsuda F, Ikutomo M: Disruption of the midkine gene (Mdk) delays degeneration and regeneration in injured peripheral nerve. 第32回日本神経科学学会大会，名古屋，2009.
 36. 嶋田博文，井尻幸成，土持兼之，榑間春利，松田史代，米和徳，Goldring Mary B., 小宮節郎：マウス関節軟骨における GADD45 beta の発現 ICR マウスと SAMP マウスを用いて．日本整形外科学会，京都，2008.10
 37. 田邊史，米和徳，松田史代，竹之内剛，川畑英之，瀬戸口啓夫，小宮節郎：慢性圧迫性脊髄障害におけるオートファジーの関与．日本整形外科学会，京都，2008.10
 38. 河村一郎，井尻幸成，坂本光，砂原伸彦，武富栄二，山元拓哉，米和徳，榑間春利，小宮節郎：RA 患者の後頭頸椎病変に対する生物学的製剤の治療効果－影響を与える因子の検討．第31回日本脊椎脊髄病学会，神戸，2009.4.23-25
 39. 田邊史，松田史代，川畑直也，瀬戸口啓夫，小宮節郎，米和徳：慢性脊髄圧迫モデル(twy/twy)における autophagy の関与．第31回日本脊椎脊髄病学会，神戸，2009.4.23-25
 40. 坂本光，井尻幸成，河村一郎，山元拓哉，米和徳，小宮節郎：CISS 画像による癒着性くも膜炎の評価－硬膜内髄外腫瘍手術例の検討．第31回日本脊椎脊髄病学会，神戸，2009.4.23-25
 41. 河村一郎，井尻幸成，坂本光，竹之内剛，砂原伸彦，武富栄二，山元拓哉，吉玉珠美，善明美千久，米和徳，小宮節郎：生物学的製剤使用 RA 患者の後頭頸椎病変－2年継続使用例における X 線学的検討－．第82回日本整形外科学会学術総会，福岡，2009.5.14-17
 42. 坂本光，井尻幸成，河村一郎，善明美千久，山元拓哉，米和徳，加治屋より子，小宮節郎：硬膜内髄外腫瘍の術後調査 CISS

業績目録

- 画像の有用性. 第82回日本整形外科学会学術総会, 福岡, 2009. 5. 14-17
43. 米和徳, 井尻幸成, 山元拓哉, 武富栄二, 砂原伸彦, 松永俊二, 坂本光, 河村一郎, 善明美千久, 小宮節郎: シンポジウムーRA手術の実際 RA 頸椎病変に対する手術. 第82回日本整形外科学会学術総会, 福岡, 2009. 5. 14-17
 44. 宮口文宏, 古賀公明, 松永俊二, 田邊史, 石堂康弘, 米和徳, 小宮節郎, 富永博之, 武富栄二, 鮫島浩司, 川内義久, 東郷泰久, 小倉雅: 頸椎神経根症に対する後方進入内視鏡下椎間孔拡大術の治療経験. 第71回西日本脊椎研究会, 福岡, 2009. 6. 12
 45. 宮口文宏, 古賀公明, 松永俊二, 田邊史, 石堂康弘, 米和徳, 小宮節郎, 富永博之, 武富栄二, 橋口兼久: 上位腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下手術の小経験. 第117回西日本整形・災害外科学会, 久留米, 2009. 6. 13-14
 46. 永吉隆作, 井尻幸成, 坂本光, 善明美千久, 山元拓哉, 米和徳, 小宮節郎: 当院における腰部脊柱管狭窄症に対する *muscle-preserving interlaminar decompression (MILD 法)* の中期成績. 第117回西日本整形・災害外科学会, 久留米, 2009. 6. 13-14
 47. Ryusaku Nagayoshi, Kosei Ijiri, Takuya Yamamoto, Kazunori Yone, Setsuro Komiya: Evaluation of occipitocervical subluxation in RA patients using coronal-view reconstructive CT. *Spine Across the Sea 2009, Maui*, 2009.7.26-30
 48. Yamamoto T, Kawakami N, Tsuji T, Ijiri K, Nagayoshi R, Sakamoto H, Yone K, Komiya S: Lumbar Curve Correction in Adolescent Idiopathic Scoliosis – The Validity of Selective Thoracic Fusion Based Lenke Classification. *Korea-Japan Orthopaedic Surgery Combined Meeting, Cheju*, 2009.9.17-19
 49. 米和徳: シンポジウムIV. 腰椎疾患(腰椎椎間板ヘルニア)患者をいかに早期にスポーツ復帰させるか 腰椎椎間板ヘルニア手術後のスポーツ活動. 第35回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 前橋, 2009. 9. 25-26
 50. 田邊史, 松田史代, 川畑直也, 瀬戸口啓夫, 小宮節郎, 米和徳: 慢性脊髄圧迫マウスにおける *autophagy* 関連蛋白ベクリン1の発現. 第24回日本整形外科学会基礎学術集会, 横浜, 2009. 11. 5-6
 51. 田邊史, 松田史代, 川畑直也, 小宮節郎, 米和徳: 慢性脊髄圧迫性脊髄障害における *autophagy* 誘導蛋白 *Becn1* の発現と凝集蛋白 *p62* の蓄積. 第44回日本脊髄障害医学会, 東京, 2009. 11. 12-13
 52. 香川洋一, 井尻幸成, 山元拓哉, 永吉隆作, 米和徳, 小宮節郎: 腰部脊髄脂肪腫を伴う脊髄係留症候群に対する短縮骨切り術の経験. 第44回日本脊髄障害医学会, 東京, 2009. 11. 12-13
 53. 寺原幹雄, 井尻幸成, 善明美千久, 山元拓哉, 永吉隆作, 米和徳, 小宮節郎: 当科における脊髄膜腫の長期術後成績. 第118回西日本整形・災害外科学会, 長崎, 2009. 11. 14-15
 54. 河村一郎, 井尻幸成, 山元拓哉, 善明美千久, 永吉隆作, 寺原幹雄, 坂本光, 山王朋佳, 米和徳, 小宮節郎: 上位頸椎脊髄腫瘍における手術成績と問題点. 第118回西日本整形・災害外科学会, 長崎, 2009. 11. 14-15
 55. 中條正英, 井尻幸成, 山元拓哉, 善明美千久, 永吉隆作, 米和徳, 小宮節郎: 軟膜下脊髄腫瘍の治療経験. 第118回西日本整形・災害外科学会, 長崎, 2009. 11. 14-15
 56. 八尋雄平, 井尻幸成, 山元拓哉, 善明美千久, 坂本光, 河村一郎, 米和徳, 小宮節郎: 髄内腫瘍で発症した肺がんの一例. 第118回西日本整形・災害外科学会, 長崎, 2009. 11. 14-15
 57. 宮口文宏, 内山田桜, 中村俊介, 古賀公明, 松永俊二, 富永博之, 武富栄二, 石堂康弘, 米和徳, 小宮節郎: 腰椎レベルの1椎間2根障害に対して内視鏡視下内側外側同時開窓術を施行した小経験. 第118回西日本整形・災害外科学会, 長崎, 2009. 11. 14-15
 58. 坂本光, 井尻幸成, 山元拓哉, 善明美千久, 永吉隆作, 八尋雄平, 本木下亮, 香川陽, 米和徳, 小宮節郎: 軽微な外傷後に胸椎回旋性脱臼を呈した *NF-1* による後側弯症の1例. 第118回西日本整形・災害外科学会, 長崎, 2009. 11. 14-15
 59. 田邊史, 武富栄二, 井尻幸成, 山元拓哉, 永吉隆作, 前田淑美, 宮口文宏, 富永博之, 石堂康弘, 米和徳, 小宮節郎: 頸部神経根症に対する前方固定術と鏡視下後方椎間孔角田術の術後成績の比較ー単椎間罹患例においてー. 第118回西日本整形・災害外科学会, 長崎, 2009. 11. 14-15
 60. 善明美千久, 井尻幸成, 山元拓哉, 永吉隆作, 寺原幹雄, 八尋雄平, 米和徳, 小宮節郎: 頸椎椎弓に発生した *Desmoplastic fibroma* の1例. 第118回西日本整形・災害外科学会, 長崎, 2009. 11. 14-15

D. その他

2) 講演

1. 大重匡: 脳卒中の介護方法について. 平成21年度鹿児島大学医学部保健学科公開講座, 鹿児島市, 2009. 8. 29
2. 大重匡: リハビリテーション看護 “最後までその人らしく”を支える. 平成21年度鹿児島大学医学部保健学科公開講座, 鹿児島市, 2009. 9. 5

業 績 目 録

3. 大重匡：理学療法の研究方法論．平成21年度日本理学療法士協会新人教育プログラム，鹿児島市，2009.5
4. 木山良二：転倒骨折予防教室．鹿児島市中央保健センター主催，鹿児島市，2009.2.20，8.17
5. 前田哲男，大渡昭彦，木山良二：理学療法士・作業療法士のためのやさしい生体力学．平成21年度鹿児島大学医学部保健学科理学療法専攻公開講座，鹿児島市，2009.6.20，7.4
6. 吉元洋一：情意領域における対応．臨床実習指導者研修会，山口県宇部市，2009.1.31
7. 吉元洋一：シンポジウム3「理学療法教育を考える－大学教育を中心に－」．第44回日本理学療法学会大会，東京，2009.5.29
8. 吉元洋一：教育研究とエビデンス．専門領域研究会（教育・管理系理学療法セミナー），第44回日本理学療法学会大会，東京，2009.5.29
9. 吉元洋一：高齢者の自立支援・介護予防Ⅱ～廃用症候群の予防～．鹿児島市保健所，2009.6.24
10. 吉元洋一：シンポジウムⅡ「教育の質」向上の対策．第22回教育研究大会・教員研修会 日本リハビリテーション学校協会，大田原市，2009.8.20
11. 吉元洋一：臨床実習の課題と対応．第44回日本理学療法士協会全国学術研修大会，四日市市，2009.10.2
12. 吉元洋一：パーキンソン病に対する理学療法．神経系理学療法研究会，鹿児島県理学療法士会，2009.10.11
13. 吉元洋一：理学療法学．平成21年度「大学出張講義」，鹿児島県立指宿高等学校，2009.12.15
14. 吉元洋一：理学療法学．平成20年度「大学出張講義」，鹿児島県立川内高等学校，2009.12.25
15. 米 和徳：高齢者の介護－整形外科の立場から－．鹿児島大学医学部保健学科公開講座，鹿児島市，2009.8.29
16. 米 和徳：整形外科領域におけるチーム医療．種子島田上病院リハビリテーションスタッフ講演，西之表，2009.9.8
17. 米 和徳：シリーズ 外傷性頸部症候群③薬物療法 マルホ整形外科セミナー．日経ラジオ，2009.9.16
18. 吉田義弘：高齢者の介護－内科の立場から－鹿児島大学医学部保健学科公開講座，鹿児島市，2009.8.29
19. 吉元洋一：高齢者の介護－肩と腰へのアプローチ(実技中心)－鹿児島大学医学部保健学科公開講座，鹿児島市，2009.8.29

〔作業療法学専攻〕

A. 著書

1. 岩瀬義昭：私はこうしている。神経難病，知識と技術の統合に向けて（吉元洋一編），文光堂，東京，2009，p168-170
2. 岩瀬義昭：職業関連活動。作業療法学全書（平賀昭信*編）（*柏崎地域こころのケアセンター）改訂第3版第12巻，協同医書出版社，東京，2009，全頁
3. 浜田博文：アルツハイマー型認知症の非薬物療法，特集「認知症の診断・治療」。医学と薬学61(5)，自然科学社，東京，2009，p677-684
4. 築瀬 誠：精神機能的理解。（澤田雄二編），基礎作業学（作業療法学全書），協同医書出版，東京，2009，p51-63
5. 築瀬 誠：学習一主に活動制限に対する理論。（澤田雄二編），基礎作業学（作業療法学全書），協同医書出版，東京，2009，p106-117
6. 築瀬 誠：精神機能分析とその例。（澤田雄二編），基礎作業学（作業療法学全書），協同医書出版，東京，2009，p167-177

B. 論文

1. 井上和博：幼児期広汎性発達障害児の感覚特性と社会生活能力の関連性。作業療法2009；28：243-250
2. 大園省吾*，西木場美美*，益山真紀*，持増健作*，中村浩一郎*，浜田博文（*田上記念病院）：回復期リハビリテーション病棟と療養病棟のリハ患者の動向と比較検討。鹿児島リハビリテーション医学研究会会誌2009；20(1)：37-42
3. 窪田正大：注意障害を伴った脳血管障害患者の認知リハビリテーション—Computer-assisted Attention Trainingの試み—。高次脳研究2009；29(2)：256-267
4. 是枝晋也*，菊池由加*，稲葉純子*，四元孝道*，窪田正大，日吉俊紀*，下堂蘭恵**，浜田博文（*加治木温泉病院，**鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）：脳挫傷により注意・遂行機能・社会的行動障害を呈し，職場復帰を果たした一症例。鹿児島高次脳機能研究会会誌2009；20(1)：41-45
5. 五代真人*，穂満博文*，小湊裕一*，日吉俊紀*，山下正策*，浜田博文（*加治木温泉病院）：脳血管障害を合併した透析患者のリハビリテーションの実態。鹿児島リハビリテーション医学研究会会誌2009；20(1)：17-21
6. 高村香奈穂*，築瀬 誠，有村省一**，平野順一**（*元児玉病院，**児玉病院）：精神障害者の一般性自己効力感—治療形態および性の違いによる比較—。保健の科学2009；51：415-420
7. 田中綾子*，築瀬 誠（*医療法人蒼風会 児玉病院）：精神障害者の家族の健康状態に関連する要因—精神科作業療法の新たな役割の検討—。作業療法2009；28：536-547
8. 中島由里子，吉満孝二，窪田正大，岩瀬義昭，浜田博文：高齢者の物忘れと注意機能に関する検討の試み。鹿児島高次脳機能研究会会誌2009；20(1)：23-28
9. 中間賢二*，竹下涼子*，尾崎智*，大勝巖*，松本秀也*，大勝洋祐*，岩瀬義昭（*大勝病院）：両側性病変の着衣障害に対するアプローチ—多彩な高次脳機能障害が原因となった一症例—。鹿児島高次脳機能研究会誌2009；20(1)：15-22
10. 持増健作*，吉本隆治*，種田福美*，佐伯遥子*，安田勇之進*，中島由里子，中村浩一郎*，浜田博文（*田上記念病院）：視床外側部出血の症候について—Dejerine-Roussy 症候群の検討—。鹿児島高次脳機能研究会会誌2009；20(1)：33-40
11. 山内愛*，四元孝道*，日吉俊紀*，梅本昭英*，浜田博文，窪田正大（*加治木温泉病院）：半側空間無視における注意障害と pacing 障害の関連性の検討。OT ジャーナル2009；43(2)：188-192

C. 学会発表

1. 大園省吾*，西木場美美*，益山真紀*，持増健作*，中村浩一郎*，浜田博文（*田上記念病院）：回復期リハビリテーション病棟と療養病棟のリハ患者の動向と比較検討。第23回鹿児島リハビリテーション医学研究会，鹿児島市，2009.3.7
2. 清藤早弥香*，藤元登四郎*，本井幸介**，田村俊世***，岩瀬義昭（*社団法人八日会 藤元早鈴病院，**金沢大学大学院自然科学研究科，***千葉大学大学院 工学研究科人工システム科学専攻）：在宅における脳血管障害者の活動量の評価—ウェアラブル姿勢・活動モニタリングシステムを用いて—。第43回日本作業療法学会，郡山市，2009.6.19
3. 久保はるみ*，大迫裕二*，八反丸健二*，窪田正大（*八反丸病院）：認知症患者1例に対する注意訓練（APT）の試み。第20回鹿児島県作業療法学会，鹿児島市，2009.3.15
4. 是枝晋也*，菊池由加*，稲葉純子*，四元孝道*，窪田正大，日吉俊紀*，下堂蘭恵**，浜田博文（*加治木温泉病院，**鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）：脳挫傷により注意・遂行機能・社会的行動障害を呈し，復色復帰を果たした一症例。第

業績目録

- 26回鹿児島高次脳機能研究会, 鹿児島市, 2009. 5. 15
5. 五代真人*, 穂満博文*, 小湊裕一*, 日吉俊紀*, 山下正策*, 浜田博文 (*加治木温泉病院): 脳血管障害を合併した透析患者のリハビリテーションの実態. 第23回鹿児島リハビリテーション医学研究会, 鹿児島市, 2009. 3. 7
 6. 坂元ゆかり*, 築瀬 誠 (*財団法人慈愛会 谷山病院): 在宅精神障害者の自尊感情とADL(日常生活)能力自己評価の関連性について. 第43回日本作業療法学会, 郡山市, 2009. 6. 20
 7. 新川正二*, 大勝巖*, 馬淵博基*, 満田稔*, 大勝洋佑*, 岩瀬義昭 (*大勝病院): 頭部外傷後 遷延する意識障害者へのリハビリテーション-回復期リハでのアプローチによりADL・QOLの改善が得られた1例-. 第24回鹿児島老年期認知症懇話会, 鹿児島市, 2009. 8. 28
 8. 田中綾子*, 築瀬 誠, 佐藤大輔*, 児玉祐一* (*医療法人蒼風会 児玉病院): 精神障害者を持つ家族自身の健康に関する工夫. 第43回日本作業療法学会, 郡山市, 2009. 6. 19
 9. 中島由里子, 吉満孝二, 窪田正大, 岩瀬義昭, 浜田博文: 高齢者の物忘れと注意機能に関する検討の試み. 第26回鹿児島高次脳機能研究会, 鹿児島市, 2009. 5. 15
 10. 中島由里子, 浜田博文, 窪田正大, 岩瀬義昭, 吉満孝二: 加齢的「もの忘れ」と軽度認知障害の「もの忘れ」に関する研究. 第33回日本高次脳機能障害学会, 札幌市, 2009. 10. 29
 11. 中間賢二*, 竹下涼子*, 尾崎智*, 大勝巖*, 松本秀也*, 大勝洋祐*, 岩瀬義昭 (*大勝病院): 両側性病変の着衣障害に対するアプローチ-多彩な高次脳機能障害が原因となった一症例-. 第26回鹿児島高次脳機能研究会, 鹿児島市, 2009. 5. 15
 12. 中間賢二*, 大勝巖*, 岩瀬義昭 (*大勝病院): ADL自立に至った軸索型ギランバレー症候群を呈した事例を経験して. 第43回日本作業療法学会, 郡山市, 2009. 6. 20
 13. 古谷正登*, 末廣昌平*, 道岡真貴子*, 築瀬 誠 (*鹿児島県立始良病院 リハビリテーション科): 集団作業療法による参加者の感情変化-分析仕法からの一考察-. 第43回日本作業療法学会, 郡山市, 2009. 6. 20
 14. 持増健作*, 吉本隆治*, 種田福美*, 佐伯遥子*, 安田勇之進*, 中島由里子, 中村浩一郎*, 浜田博文 (*田上記念病院): 視床外側部出血の症候について-Dejerine-Roussy症候群の検討-. 第26回鹿児島高次脳機能研究会, 鹿児島市, 2009. 5. 15
 15. 柳田信彦, 末廣昌平*, 古谷正登* (*鹿児島県立始良病院 リハビリテーション科): 鹿児島県の精神科作業療法における現状と課題. 第20回鹿児島県作業療法学会, 鹿児島市, 2009. 3. 15
 16. 柳田信彦, 道岡真貴子*, 末廣昌平*, 赤水美穂*, 濱田素美*, 古谷正登* (*鹿児島県立始良病院 リハビリテーション科): デイケア開設を経験して-デイケアに求められること-. 第20回鹿児島県作業療法学会, 鹿児島市, 2009. 3. 15

D. その他

1) 論文・報告書

1. 築瀬 誠: 家族の健康状態と関連する要因. NPO 法人かれん鹿児島調査報告 No. 2, NPO 法人かれん鹿児島, 2009
2. 柳田信彦, 井上和博, 築瀬誠: 「精神科作業療法普及活動の実践」平成20年度活動報告書. 鹿児島県作業療法士会

2) 講演

1. 井上和博: 子どもの発達と感覚統合. 鹿児島県立出水養護学校職員研修会, 出水市, 2009. 1. 6
2. 井上和博: 子どもの発達と感覚統合. 鹿児島市親子つどいの広場「なかまっち」研修会, 鹿児島市, 2009. 2. 5
3. 井上和博: 感覚運動活動の実際-自閉症児・脳性まひ児を対象に-. 鹿児島県立大島養護学校職員研修会, 奄美市, 2009. 7. 11
4. 井上和博: 運動技能の発達-幼児期の運動-. 鹿児島県作業療法士会研修会, 鹿児島市, 2009. 10. 4
5. 井上和博: 発達障害作業療法の課題と展望. 平成21年度鹿児島県作業療法士会主催現職者選択研修会, 鹿児島市, 2009. 11. 1
6. 岩瀬義昭: 教育. 日本作業療法士協会認定作業療法士研修会, 大阪市, 2009. 1. 31
7. 岩瀬義昭: 学ぶべきこと, 伝えるべきこと. 第6回新臨床実習研究会モーニングセミナー, 宮崎市, 2009. 8. 30
8. 岩瀬義昭: 作業療法の未来を語る-先人達は何を考えて戦略をたてたのか-. 平成21年度宮崎県作業療法士会事業部研修会, 宮崎市, 2009. 10. 4
9. 岩瀬義昭: 世界の作業療法の動向. 鹿児島県作業療法士会現職者共通研修会, 霧島市, 2008. 10. 25
10. 岩瀬義昭: 日本作業療法士協会の主要目標と戦略. 日本作業療法士協会認定作業療法士取得共通研修会-管理運営-, 宮崎市, 2009. 11. 27
11. 岩瀬義昭: からだのみかた. 平成21年度社会福祉法人常磐会明星学園職員研修会, 鹿児島市, 2009. 12. 14
12. 窪田正大: 高次脳機能障害を知ろう-注意障害・記憶障害・遂行機能障害-. 鹿児島市障害程度区分認定審査会委員研修会,

業績目録

- 鹿児島市, 2009. 3. 16
13. 窪田正大: 「高次脳機能障害者」への支援を考えるー鹿児島高次脳機能障害者支援推進委員会の活動を通してー. 宮崎県高次脳機能障害行政等担当者研修会, 宮崎市, 2009. 8. 26
 14. 窪田正大: 高次脳機能障害についてー注意障害・記憶障害・遂行機能障害ー. 鹿児島県作業療法士会 大隅支部公開講座, 鹿屋市, 2009. 11. 8
 15. 幸福圭子: 母親指導について. 虹の家療育センター職員勉強会, 始良町, 2009. 4. 27
 16. 幸福圭子: 情緒の発達について. 虹の家療育センター職員勉強会, 始良町, 2009. 5. 25
 17. 幸福圭子: 療育の理念と実践について. 鹿児島県児童総合相談センター療育指導部スーパービジョン研修会, 鹿児島市, 2009. 6. 1
 18. 幸福圭子: 小児外来 OT に対する指導について. 菊野病院作業療法勉強会, 南九州市, 2009. 6. 19
 19. 幸福圭子: 認知の発達について. 虹の家療育センター職員勉強会, 始良町, 2009. 6. 29
 20. 幸福圭子: 言語の発達について. 虹の家療育センター職員勉強会, 始良町, 2009. 7. 27
 21. 幸福圭子: 遊びについて. 虹の家療育センター職員勉強会, 始良町, 2009. 9. 14
 22. 幸福圭子: 対人援助について. 虹の家療育センター職員勉強会, 始良町, 2009. 10. 26
 23. 幸福圭子: 発達障害領域の基礎知識. 平成21年度鹿児島県作業療法士会主催現職者選択研修会, 鹿児島市, 2009. 11. 1
 24. 幸福圭子: 虹の家療育センターでの作業療法の紹介と今後の課題. 第7回虹の家療育セミナー, 始良町, 2009. 11. 22
 25. 幸福圭子: 自閉症について. 虹の家療育センター職員勉強会, 始良町, 2009. 12. 21
 26. 浜田博文: 「認知症のリハビリテーションとケアー」. 第1回保健学科同窓会, 鹿児島市, 2009. 2. 8
 27. 浜田博文: 「高次脳機能障害の診断と認知リハビリテーション」. 宮崎県医師会・宮崎県共催「高次脳機能障害」講演会, 宮崎市, 2009. 6. 8
 28. 築瀬 誠: 作業療法のめざすもの. 県精連平成20年度「心の健康ネットワーク研修会」, 鹿児島市, 2009. 1. 28
 29. 築瀬 誠: 認知を変える・行動を変える. NPO 法人かれん鹿児島平成21年度総会, 鹿児島市, 2009. 5. 24
 30. 築瀬 誠: 家族との関わりの中で見えてきた精神科作業療法の新たな可能性. 宮崎精神科 OT 研究会, 宮崎市, 2009. 9. 5
 31. 築瀬 誠: 患者さんと共に過ごす上での配慮. NOP 法人隼人わかば会家族会懇談会, 霧島市, 2009. 9. 18
 32. 築瀬 誠: 研究入門ー論文を探す・読む・書くー. 鹿児島県作業療法士会学術誌研修会, 鹿児島市, 2009. 10. 11
 33. 吉満孝二: 事例検討方法論の実際. 鹿児島県作業療法士会, 鹿児島市, 2009. 8. 2